Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S6400

クールピクス S6400

活用ガイド

COOLPIX S6400のおすすめ機能

撮ってすぐ、かんたんタッチ操作で楽しく画像編集

クイックエフェクト……………………………… 30、39

「撮る」、「選ぶ」、「保存」の3ステップで、効果を付けた写真が簡単に作れます。
選べる効果は全30種類！スマートフォンアプリと同様に、効果のプレビュー画面で仕上がりイメージを確認しながら、シーンや気分に合わせてお気に入りの1枚を選べます。
再生時にをタッチすると、後からでも効果を付けられます（33）。

撮りたいものをカメラが判断してピント合わせ

ターゲットファインド AF ………………………… 74

カメラが人物、花、小物などの主要被写体を予測する「ターゲットファインドAF」※を搭載！予測した被写体に自動でピントを合わせるので、ピント合わせを気にせず自由な構図で撮影をお楽しみいただけます。
また、被写体のサイズに合わせて、ピントを合わせる範囲を自動調整するため、撮りたいものにしっかりとピントが合います。
他にも、好きな構図で撮りたいものにタッチするだけの「タッチシャッター」（69）など、手軽にピント合わせができる、さまざまな機能を搭載しています。

※ 撮影前に撮影メニュー［**AF エリア選択**］（70）を［**ターゲットファインド AF**］に設定してください。

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S6400をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」（📖vii～xiv）をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

COOLPIX S6400
カメラ本体

ストラップ

タッチペン TP-1

Li-ion **リチャージャブルバッテリー** EN-EL19
（バッテリーケース付き）

本体充電
AC **アダプター** EH-69P

USB **ケーブル**
UC-E6

オーディオビデオケーブル EG-CP16

ViewNX 2 CD

活用ガイド CD

- 使用説明書
- 保証書
- 登録のご案内

※ メモリーカードは付属していません。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（□13）をご覧ください。
また、カメラ各部の名称や液晶モニターの表示については、「各部の名称」（□1）をご覧ください。

●本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
✎	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
📖/🔗/☼	関連情報が記載されているページです。🔗は「詳細編」、☼は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL19には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。

ホログラムシール

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［**オープニング画面**］（□104）の［**撮影した画像**］も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

⚠**危険**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠**警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠**注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
禁止	**通電中のカメラに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。

保管注意	**幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
保管注意	**ストラップが首に巻きつかないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を使うこと** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意(カメラについて)

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意	**航空機内では、離着陸時に電源をOFFにすること** **病院では病院の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター）を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。 本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠注意（3D画像について）

	使用注意	**本機器で撮影した3D画像をテレビまたはモニターなどで長時間続けて視ない** **特に視覚の発達段階にある幼児は、事前に小児科や眼科などの医師の指示に従う** 眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。 症状が出たときは、3D画像の閲覧をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。

⚠危険（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

	禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	分解禁止	**電池を分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	危険	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	使用禁止	**Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL19は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX S6400 に対応しています。EN-EL19に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときはバッテリーケースに入れてください。

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない

幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠警告（本体充電ACアダプターについて）

分解禁止	**分解したり修理・改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

	禁止	**ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
	感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因になることがあります。
	禁止	**海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。
	禁止	**通電中のACアダプターに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠ 注意（本体充電ACアダプターについて）

	感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
	放置注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
	禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

目次

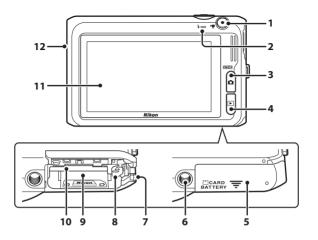
各部の名称

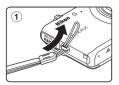
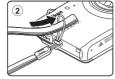
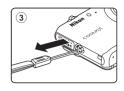
この章では、各部の名称のほか、液晶モニターの表示について説明しています。

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（13）をご覧ください。

カメラ本体

1	シャッターボタン 30
2	ズームレバー .... 29 W：広角ズーム .... 29 T：望遠ズーム .... 29 ▦：サムネイル表示 .... 81 Q：拡大 80
3	セルフタイマーランプ .... 61 AF補助光 104
4	電源スイッチ/電源ランプ 24
5	マイク（ステレオ）............ 85、96
6	フラッシュ 58
7	レンズバリアー
8	レンズ
9	ストラップ取り付け部 4
10	USB/オーディオビデオ出力端子 .... 16、86
11	HDMIミニ端子（Type C）..........86
12	端子カバー .... 16、86

各部の名称

1	●（動画撮影）ボタン 96
2	充電ランプ...................17、107 フラッシュランプ.......................58
3	（撮影モード）ボタン ....38、40、52、54
4	▶（再生）ボタン ....32、82
5	バッテリー/SDカードカバー ....14、15
6	三脚ネジ穴
7	パワーコネクターカバー（別売ACアダプター接続用）..............119
8	バッテリーロックレバー 14
9	バッテリー室 14
10	SDカードスロット 18
11	液晶モニター/タッチパネル........6
12	スピーカー ....85、100

ストラップの取り付け方

タッチパネルの操作方法

COOLPIX S6400の液晶モニターは、タッチパネルになっています。指や付属のタッチペンで画面をタッチして操作します。

タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

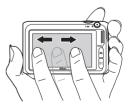
以下の操作に使います。

- アイコンを選ぶ
- サムネイル表示中（□81）に画像を選ぶ
- タッチシャッター、タッチAF/AEまたはターゲット追尾を使う（□69）

ドラッグする

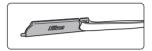
タッチパネルに触れたまま動かし、離す動作です。

以下の操作に使います。

- 再生中（1コマ表示時）（□32）に前後の画像を表示する
- 画像の拡大表示中（□80）に表示範囲を移動する
- 露出補正（□65）などのスライダー操作

タッチペンについて

指では操作しにくいとき、手書きメモの入力（🕮47）や画像にペイントするとき（🕮84）などは、タッチペンを使うと便利です。

タッチペンの取り付け方

タッチペンは図のようにストラップに取り付けできます。

タッチパネルについてのご注意

- 付属のタッチペン以外の先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。

タッチ/ドラッグするときのご注意

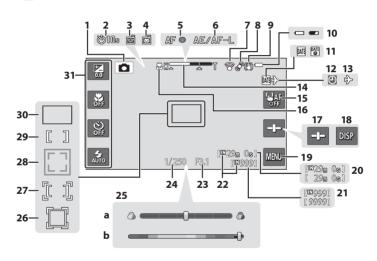
- タッチするときに、指をタッチパネルに触れたままにすると、適切に動作しないことがあります。
- ドラッグするときに、以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
  - タッチパネルを弾く
  - 指を動かす距離が短すぎる
  - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
  - 指を動かす速度が速すぎる
- タッチするときに、タッチパネルの他の部分に何かが触れていると、適切に動作しないことがあります。

タッチペンについてのご注意

- タッチペンは乳幼児の手の届くところには置かないでください。
- タッチペンを持って、カメラを持ち運ばないでください。タッチペンからストラップが外れて、カメラが落下することがあります。

液晶モニター/タッチパネルの表示内容

撮影モード

表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。
初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に表示の一部が消灯します（[**モニター設定**]（□104）→［**モニター表示設定**］→［**情報AUTO**］設定時）。再表示するには、DISPをタッチします。

1 撮影モード..........38、40、52、54
2 セルフタイマー..........................61
3 笑顔自動シャッター ....54、70
4 ペット自動シャッター 49
5 AF表示.......................................30
6 AE/AF-L表示..............................50
7 Eye-Fi通信表示........................105
8 モーション検知表示................104
9 手ブレ補正表示........................104
10 バッテリー残量表示..................24
11 デート写し込み........................104
12 日時未設定........22、104、🔗120
13 訪問先..............................22、104
14 ズーム表示..........................29、63
15 タッチAF/AE解除.........69、🔗57
16 マクロ領域表示..........................63
17 スライダー表示..................41、53
18 情報再表示...............................104
19 メニュー画面表示 .... 10、68、99、103
20 記録可能時間（動画）..................96
21 記録可能コマ数（静止画）..........24
22 内蔵メモリー表示.............. 24、96
23 絞り値..30
24 シャッタースピード....................30
25 **a** シーンエフェクト調整スライダー..41
b スペシャルエフェクト調整スライダー..53
26 AFエリア（ターゲット追尾時）......... 69、🔗55
27 AFエリア（タッチAF/AE時） .... 69、🔗57
28 AFエリア（顔認識時、ペット検出時）...............................49、54、75
29 AFエリア（中央時)........... 30、70
30 AFエリア（オート時、ターゲットファインドAF時）.............. 70、74
31 撮影の基本設定...........................57

再生モード

表示される情報は、再生中の画像の種類やカメラの状態によって異なります。
初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に表示の一部が消灯します（[**モニター設定**]（□104）→［**モニター表示設定**］→［**情報AUTO**］設定時）。再表示するには、液晶モニターをタッチします。

No.	項目	ページ
1	ファイル名	E117
2	撮影日	20
3	撮影時刻	20
4	音声メモ	85、E78
5	ペイント	84、E22
6	メイクアップ効果（すべて）	84、E29
	メイクアップ効果（美肌）	84、E29
7	クイックエフェクト	33、E20
	簡単レタッチ	84、E25
	D-ライティング	84、E26
	スリム効果	84、E27
	アオリ効果	84、E28
8	Eye-Fi通信表示	105
9	プロテクト表示	84、E71
10	プリント指定表示	84、E73
11	バッテリー残量表示	24
12	3D画像表示	50
13	連写グループ表示（［**1枚ずつ**］設定時）	105、E14、E110
14	前後の画像を表示	32
15	スモールピクチャー	84、E31
16	トリミング	80、E32
17	画像モード※1	69、E49
18	かんたんパノラマ	48
19	動画設定※1	99
20	メニュー画面表示	10、84、103
21	内蔵メモリー表示	32
22	クイックエフェクト	33
23	**a** 画像の番号/全画像数	32
	b 動画の再生時間	100
24	連写グループ再生	33
	かんたんパノラマ再生	48、E6
	動画再生	100
25	お気に入りフォルダー表示※2	82、E7
26	オート分類項目表示※2	82、E11
27	撮影日一覧表示	82、E13

※1 アイコンは、撮影時の設定によって異なります。

※2 再生時に選んだお気に入りフォルダーやオート分類項目のアイコンが表示されます。

メニューの操作方法

以下のメニューを使って、さまざまな機能の設定ができます。

- 撮影メニュー（🕮68）：撮影モードや動画の設定を変更して撮影するときに使います。
- 再生メニュー（🕮84）：撮影した画像を削除したり編集したりするときに使います。
- セットアップメニュー（🕮104）：カメラの基本的な設定をするときに使います。

1 MENUをタッチして、メニュー画面を表示する

- 撮影モード（🕮26）では撮影メニューが表示されます。
- 再生モード（🕮32）では再生メニューが表示されます。

2 ▲または▼タッチして、画面をスクロールする

- 設定したいメニュー項目が表示されるように、画面をスクロールしてください。
- 撮影メニューの画面を下にスクロールすると、動画メニュー（🕮99）が表示されます。

3 メニュー項目をタッチして選ぶ

- 設定画面が表示されます。

4 設定項目をタッチして設定する

- メニュー項目によって操作は異なります。
- 画面を1つ戻るには、◎をタッチします。
- 設定が終了すると、手順 3 の画面に戻ります。メニューを終了するには、⊗をタッチします。

- OKが表示されている設定画面では、設定項目をタッチした後にOKをタッチしてください。

セットアップメニューの表示方法

撮影メニューまたは再生メニューの画面を下にスクロールし、Y［**セットアップ**］をタッチします。

設定できる項目については、「MENUで設定できる機能（セットアップメニュー）」（□104）をご覧ください。

セットアップメニュー

各部の名称

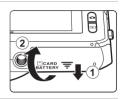
撮影と再生の基本ステップ

準備

撮影

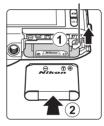
再生

準備1　バッテリーを入れる

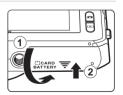
1　バッテリー /SDカードカバーを開ける

2　付属のバッテリーEN-EL19（リチウムイオン充電池）を入れる

- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げながら（①）、奥まで差し込みます（②）。
- 正しく入れると、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3　バッテリー /SDカードカバーを閉じる

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。→□16

撮影と再生の基本ステップ

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開けます。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げると（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

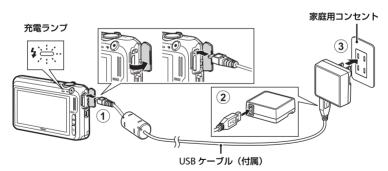
バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」（📖xi）、「警告」（📖xii）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（☼2～☼5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

準備2　バッテリーを充電する

1　付属の本体充電ACアダプター EH-69Pを用意する

2　バッテリーを入れたカメラと本体充電ACアダプターを①～③の順に接続する

- 電源はOFFにしたままにしてください。
- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

- カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約3時間です。
- フル充電されると、充電ランプが消灯します。
- 充電ランプについて→📖17

3 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

充電ランプについて

状態	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5℃～ 35℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。

本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電ACアダプターをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（□xiii）、「注意」（□xiv）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（☼2～☼5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

パソコンや充電器で充電する

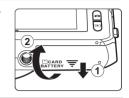
- COOLPIX S6400をパソコンに接続しても、Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL19を充電できます（□86、⊶106）。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-66（⊶119）を使うと、カメラを使わずにEN-EL19を充電できます。

充電中にカメラを操作する

本体充電ACアダプターで充電中にカメラの電源スイッチを押すと、再生モードで電源がONになり、撮影した画像の再生ができます（HDMI接続中を除く）。撮影はできません。

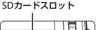
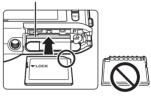
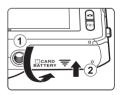
準備3　SDカードを入れる

1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開ける

- カバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

- カチッと音がするまで差し込みます。

逆挿入に注意

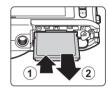
SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

SDカードの初期化について

- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
- **SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- SDカードを初期化するには、カードをカメラに入れ、セットアップメニュー（□104）の［**カードの初期化**］を選びます。

SDカードについてのご注意

SDカードの説明書や「取り扱い上のご注意　メモリーカードについて」（☼5）をご覧ください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
SDカードを指で軽く奥に押し込むと（①）、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

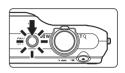
内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約 78 MB）またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使って記録や再生をするときはSDカードを取り出してください。

準備4　表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1　電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。

2　表示言語をタッチする

- タッチパネルの操作方法→□4

3　［はい］をタッチする

4 ◀ または ▶ をタッチして自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、OKをタッチする

- 夏時間（サマータイム）を設定するには、☀をタッチして夏時間の設定をオンにします。
  設定をオンにすると、画面上部に☀マークが表示されます。
  オフにするには、☀をタッチします。

5 日付の表示順をタッチして選ぶ

6 日時を合わせ、OKをタッチする

- 変更したい項目をタッチし、▲または▼をタッチして日時を合わせます。

7 ［はい］をタッチする

- 設定が完了すると、レンズが繰り出し、撮影画面になります。

言語や日時の設定をやり直すときは

- セットアップメニュー（104）で［**言語/Language**］または［**地域と日時**］を設定します。
- セットアップメニュー→［**地域と日時**］→［**タイムゾーン**］→で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。訪問先（）のタイムゾーンを登録すると、自宅（）との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。
- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で が点滅します。セットアップメニューの［**地域と日時**］で日時を設定してください（104）。

時計用電池について

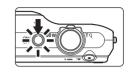
- カメラの時計は、カメラに入れるバッテリーとは別のバックアップ用電池で動いています。
- バックアップ用電池は、カメラにバッテリーを入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、設定した日時を数日間、記憶できます。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「準備4　表示言語と日時を設定する」手順3（20）

撮影日入りの画像をプリントするには

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニュー（104）で［**デート写し込み**］を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- ［**デート写し込み**］を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（88）を使うと、日付を入れてプリントできます。

ステップ1　電源をONにする

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- レンズが繰り出し、液晶モニターが点灯します。

2 バッテリー残量表示と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量表示

表示	意味
(バッテリー残量表示アイコン)	バッテリー残量はあります。
(バッテリー残量少アイコン)	バッテリー残量が少なくなりました。 バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。 バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

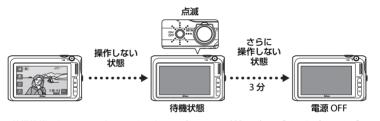
撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- SDカードをカメラに入れていないときは、INが表示され、画像を内蔵メモリー（約 78 MB）に記録します。
- 記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画質/画像サイズ（画像モード）によって異なります（⊶50）。

電源のON/OFFについて

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。電源をOFFにすると、液晶モニターも、電源ランプも消灯します。
- 再生モードで電源をONにするには、▶（再生）ボタンを長押しします。このとき、レンズは繰り出しません。

節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。
→ 電源スイッチ、シャッターボタン、◘（撮影モード）ボタン、▶（再生）ボタン、または●（動画撮影）ボタン

- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（104）の［**オートパワーオフ**］で変更できます。
- 初期設定では、撮影時または再生時は、約1分で待機状態になります。
- ACアダプター EH-62G（別売）使用時は、30分（固定）で待機状態になります。

AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62G（119）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62G以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

ステップ2　撮影モードを選ぶ

1　ボタンを押す

- 撮影モードを選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます。

2　アイコンをタッチして撮影モードを選ぶ

- ここでは、（オート撮影）モードを例に説明します。
- 選んだ撮影モードは電源を OFF にしても記憶されます。

撮影モードの種類

	オート撮影	38

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて撮影メニュー（69）の項目を設定できます。

	シーン	40

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。おまかせシーンモード（）にすると、構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動で選ぶので、より簡単にシーンに適した撮影ができます。

- シーンを選ぶには、撮影モードメニューで、設定したいシーンのアイコンをタッチします。

	スペシャルエフェクト	52

画像に効果を付けて撮影できます。11種類の撮影効果から選べます。

- 効果を選ぶには、撮影モードメニューで、設定したい効果のアイコンをタッチします。

	ベストフェイス	54

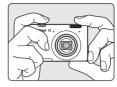
カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。また、美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにします。

撮影時の設定を変えるには

- フラッシュを使うには→58
- セルフタイマーを使うには→61
- マクロモードを使うには→63
- 明るさを調整するには（露出補正）→65
- メニューを使うには→68

ステップ3　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。

2　構図を決める

- 画面中央にピントを合わせる AF エリアが表示されます。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせてください。

三脚の使用について

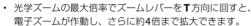
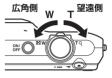
- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所で撮影するとき、フラッシュモード（□59）を（発光禁止）にして撮影するとき
  - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などに固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□104）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）方向に回す。
- 広い範囲を写す：**W**（広角）方向に回す。
  電源をONにしたときは、最も広角側になっています。

- ズームレバーを回すと、液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。

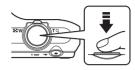
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを**T**方向に回すと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズーム使用時は、ズームの量が凸マークを超えると画質が劣化します。
凸マークの位置は撮影時の画像サイズが小さいほど右に移動するため、画像サイズの小さい画像モード（□69）にすると、画質を劣化させずにより大きく拡大できます。

画像サイズが小さい場合

ステップ4　ピントを合わせ、シャッターをきる

1　シャッターボタンを半押しする（□31）

- ピントが合うと、中央のAFエリア表示が緑色に点灯します。
  カメラが主要な被写体を検知してピントを合わせる、［**ターゲットファインドAF**］（□74）に切り換えられます。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□6）が緑色に点灯します。
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2　シャッターボタンを全押しする（□31）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

3　撮影した画像に効果を付けるときは、［OK］をタッチする

- 効果を選ぶ画面が表示されます。→「クイックエフェクトを使う」（□39）
- ［**キャンセル**］をタッチするか、無操作で約5 秒経過すると撮影画面に戻ります。
- ［**クイックエフェクト**］を［**OFF**］にすると、右の画面を表示しないようにできます（□69）。

シャッターボタンの半押しと全押し

半押し		シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
全押し		半押しの状態から、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

ピントについてのご注意

オートフォーカスが苦手な被写体→□77

タッチシャッターについて

初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます。シャッターをきらずにタッチした被写体でピントと露出を合わせる［**タッチAF/AE**］にも変更できます（□69）。

AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（□104）が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ（□58）が発光することがあります。

シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれます。

ステップ5　画像を再生する

1 ▶（再生）ボタンを押す

- 再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を1コマ表示します。

2 画像をドラッグして前後の画像を表示する

前の画像を表示するには、右へドラッグするか◀をタッチします。

次の画像を表示するには、左へドラッグするか▶をタッチします。

- ◀または▶をタッチしたままにすると連続して表示を切り換えます。
- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SDカードを取り出します。「画像の番号/全画像数」にINが表示されます。
- 撮影に戻るには、📷 ボタン、シャッターボタン、または●（動画撮影）ボタンを押します。

画像の番号 / 全画像数

画像の再生について

- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 顔認識（□75）またはペット検出（□49）して撮影した画像は、1 コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（連写した画像を除く）。
- 画像の向き（縦横位置）は、再生メニュー（□84）の［**画像回転**］で変更できます。
- 連写した画像は、撮影した一連の画像が1つのグループ（連写グループ）となり、初期設定ではグループ内の1コマ目の画像（代表画像）のみを表示します（□105）。グループ内の画像を1コマずつ展開して表示するには▣をタッチします。代表画像のみの表示に戻すには、⊖をタッチします。

クイックエフェクト機能について

1 コマ表示で▣が表示されたときは、▣をタッチすると画像に効果を付けられます。

- 効果の選択画面が表示されたら、タッチして効果を選び、確認画面で▣をタッチし、［**はい**］をタッチします。

  →「▣クイックエフェクト」（⚭20）

関連ページ

- 拡大表示→□80
- サムネイル表示→□81
- 再生する画像を絞り込む→□82
- ▣で設定できる機能（再生メニュー）→□84

ステップ6　画像を削除する

1　削除したい画像を表示して MENU をタッチし、🗑をタッチする

2　削除方法をタッチする

- □［**表示画像**］：
  表示している1コマを削除します。
- ▦［**削除画像選択**］：
  複数の画像を選んで削除します（□35）。
- ALL［**全画像**］：
  すべての画像を削除します。
- サムネイル表示（□81）にして手順1の操作をした場合は、［**削除画像選択**］または［**全画像**］から選びます。

3　［はい］をタッチする

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるには、［**いいえ**］をタッチします。

削除画像選択画面の操作方法

1 画像をタッチし、✓を表示する

- 選択を解除するには、もう一度画像をタッチして✓を非表示にします。
- ▲ または ▼ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- ズームレバー（□2）を**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。

2 削除したい画像すべてに✓を表示し、OKをタッチして選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せません。残しておきたい画像はパソコンなどに保存することをおすすめします。
- プロテクト設定（□84）した画像は、削除されません。

連写グループの削除について

- 代表画像のみの表示中に（□33）MENUをタッチして代表画像を削除すると、代表画像を含む同じ連写グループの画像すべてが削除されます。
- 連写グループ内の画像を個別に削除するときは、▶ をタッチして1コマずつに展開表示してからMENUをタッチし、🗑をタッチします。

削除する画像を絞り込むには

お気に入り再生モード、オート分類再生モードまたは撮影日一覧モードに切り換えると、お気に入りフォルダー、分類や撮影日ごとに画像を絞り込んで削除できます（□82）。

いろいろな撮影

この章では、各撮影モードの特徴や、撮影モードで使える機能などを説明しています。
撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変えると、撮影方法や画像の仕上がりを工夫できます。

◘（オート撮影）モード

基本的な撮影ができます。また、撮影メニュー（□69）の項目を撮影状況や撮影意図に合わせて設定できます。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ ◘（オート撮影）モード

- ピント合わせをするエリアは、撮影メニュー［**AFエリア選択**］（□70）で［**中央**］（初期設定）または［**ターゲットファインドAF**］を選べます。
  ［**ターゲットファインドAF**］の場合、カメラが主要な被写体を検出するとその被写体にピントが合います。カメラが主要な被写体を検出しないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。→「ターゲットファインドAFについて」（□74）
  タッチシャッターまたはタッチAF/AE（□69）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- ピントを合わせるAFエリアが被写体を追尾する［**ターゲット追尾**］を設定できます（□69）。

◘（オート撮影）モードの設定を変える

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（□57）
- MENU をタッチすると、◘（オート撮影）モードで設定できるメニュー項目が表示されます。→「MENUで設定できる機能（撮影メニュー）」（□68）

組み合わせて使えない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。

クイックエフェクトを使う

（オート撮影）モードでは、シャッターをきったすぐ後に、撮影した画像に効果を付けられます。

- 効果を付けた画像は、撮影した画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（117）。

1 （オート撮影）モードで静止画を撮影した後に表示される画面で、[OK] をタッチする

- [キャンセル] をタッチするか、無操作で約5秒経過すると撮影画面に戻ります。
- [クイックエフェクト] を [OFF] にすると、右の画面を表示しないようにできます（69）。

2 効果をタッチして選ぶ

- ▲ または ▼ をタッチすると、画面をスクロールできます。
- 効果の種類→「クイックエフェクト」（20）

3 をタッチする

- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、をタッチします。確認画面が表示されたら [はい] をタッチします。

4 [はい] をタッチする

- 効果を付けた画像が作成され、撮影画面に戻ります。
- クイックエフェクトで作成した画像は、再生画面でが表示されます（8）。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを以下から選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする ➔ 📷（撮影モード）ボタン ➔ SCENE シーンモード ➔ シーンの選択

おまかせシーン（初期設定）（□42）	ポートレート（□42）	風景（□42）	スポーツ（□43）
夜景ポートレート（□43）	パーティー（□44）	ビーチ（□44）	雪（□44）
夕焼け（□44）	トワイライト（□44）	夜景（□45）	クローズアップ（□45）
料理（□46）	ミュージアム（□46）	打ち上げ花火（□46）	モノクロコピー（□46）
手書きメモ（□47）	逆光（□47）	かんたんパノラマ（□48）	ペット（□49）
3D 3D撮影（□50）			

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンを選ぶ画面で❓をタッチすると、［**ヘルプ選択**］画面になります。シーンのアイコンをタッチすると、それぞれのシーンの特徴を表示できます。もとの画面に戻るには、⮌をタッチします。

シーンモードの設定を変える

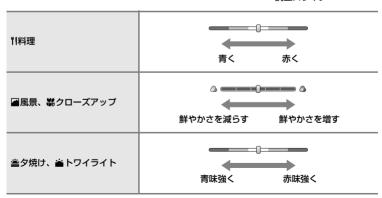
- シーンによっては、フラッシュモード、セルフタイマー、マクロまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」(□57)、「初期設定一覧」(□66)
- MENUをタッチすると、シーンモードで設定できるメニュー項目が表示されます（メニュー項目はシーンによって異なります）。→「シーンモードの種類と特徴」(□42)、「MENUで設定できる機能（撮影メニュー）」(□68)

シーンエフェクトの調整

以下のシーンモードでは、をタッチするとシーンエフェクト調整スライダーが表示されます。

- シーンエフェクト調整スライダーをタッチまたはドラッグして、シーンの効果を調整できます。
- 調整が終わったら、Xをタッチしてシーンエフェクト調整スライダーを非表示にしてください。

シーンエフェクト
調整スライダー

料理	青く ⟷ 赤く
風景、クローズアップ	鮮やかさを減らす ⟷ 鮮やかさを増す
夕焼け、トワイライト	青味強く ⟷ 赤味強く

シーンモードの種類と特徴

おまかせシーン

- カメラを被写体に向けると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。
  ：ポートレート、：風景、：夜景ポートレート、：夜景、
  ：クローズアップ、：逆光、：その他の撮影シーン
- ピント合わせをするエリア（AF エリア）は、構図によってカメラが選びます。カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（75）。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE で（69）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- （夜景ポートレート）に切り換わったときは、フラッシュモードが赤目軽減スローシンクロ強制発光になり（（自動発光）設定時）、スローシャッターで 1 コマ撮影します。
- （夜景）に切り換わったときは、フラッシュモードの設定によらず （発光禁止）になり、スローシャッターで 1 コマ撮影します。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、（オート撮影）モード（26）に切り換えるか、目的にあったシーンモードを選んで撮影してください。
- 電子ズームは使えません。

いろいろな撮影

ポートレート

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（75）。
- 美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにします（56）。
- 顔を認識しないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 電子ズームは使えません。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

風景

- シーンエフェクト調整スライダーで色の鮮やかさを調整できます（41）。
- シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（7）が緑色に点灯します。

スポーツ

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AEで（□69）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、約 2 コマ / 秒の速さで約 19 コマまで連写できます（画像モードが 16:9 12M のとき）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- タッチシャッター（□69）で撮影すると、1 コマずつの撮影になります。

夜景ポートレート

- フラッシュが常に発光します。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（□75）。
- 美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにします（□56）。
- 顔を認識しないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- MENU をタッチして ［**夜景ポートレート**］をタッチすると、［**手持ち撮影**］または ［**三脚撮影**］を選べます。
- ［**手持ち撮影**］（初期設定）：
  - 画面左上の アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
- ［**三脚撮影**］：三脚などで固定して撮影するときに使います。
  - セットアップメニューの［**手ブレ補正**］（□104）を［**ON**］に設定していても、手ブレ補正を行いません。
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで 1 コマ撮影します。
- 電子ズームは使えません。

パーティー

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AEで（69）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（104）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ビーチ

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AEで（69）、ピントを合わせるエリアを変えられます。

雪

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AEで（69）、ピントを合わせるエリアを変えられます。

夕焼け

- シーンエフェクト調整スライダーで色味を調整できます（41）。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

トワイライト

- シーンエフェクト調整スライダーで色味を調整できます（41）。
- シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（7）が緑色に点灯します。

：三脚マークが記載されているシーンでは、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（104）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

夜景

- シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（7）が緑色に点灯します。
- MENUをタッチして[**夜景**]をタッチすると、[**手持ち撮影**]または[**三脚撮影**]を選べます。
- ［**手持ち撮影**］（初期設定）：手持ちでも手ブレやノイズの少ない撮影ができます。
  - 画面左上のアイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- ［**三脚撮影**］：三脚などで固定して撮影するときに使います。
  - セットアップメニューの［**手ブレ補正**］（104）を［**ON**］に設定していても、手ブレ補正を行いません。
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
- 電子ズームは使えません。

クローズアップ

- マクロモード（63）がONになり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- シーンエフェクト調整スライダーで色の鮮やかさを調整できます（41）。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AE（69）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

料理

- マクロモード（◻63）が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- シーンエフェクト調整スライダーで、照明によって被写体の色が変わる影響を調整できます（◻41）。料理モードのシーンエフェクトの調整は電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチ AF/AE（◻69）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

ミュージアム

- フラッシュは発光しません。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AEで（◻69）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクター））。
- タッチシャッター（◻69）で撮影すると、BSS は作動しません。

打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。
- ピントは、遠景に固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（◻7）が緑色に点灯します。

モノクロコピー

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AEで（◻69）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（◻63）を併用してください。

：が記載されているシーンでは、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（◻104）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

手書きメモ

- タッチパネルで文字や絵を描いて、画像として保存します。
- 保存される画像サイズは VGA（640 × 480）になります。

→「手書きメモの使い方」（⚭2）

逆光

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AEで（□69）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- MENU をタッチして HDR［**HDR**］をタッチすると、撮影シーンに合わせて、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の ON/OFF を設定できます。
- OFF［**OFF**］（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
  - シャッターボタンを全押しすると、1 コマ撮影します。
- ON［**ON**］：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
  - 電子ズームは使えません。
  - シャッターボタンを全押しすると、高速で連写し、以下の 2 コマを記録します。
    - HDR 合成していない画像
    - HDR 合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
  - 記録画像の 2 コマ目が HDR 合成した画像になります。記録可能コマ数が 1 コマの場合は、撮影時に D- ライティング（□84）で暗い部分を明るく補正し、1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

かんたんパノラマ

- パノラマ写真をつくりたい方向にカメラを動かすだけで、パノラマ写真を撮影できます。
- シャッターボタンを全押しして指を離し、続けて、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定の範囲を撮影し終えると自動で撮影が終了します。
- ピントは、撮影開始時に画面中央のエリアで合わせます。
- ズーム位置は広角側に固定されます。
- MENU をタッチして STD/WIDE［**かんたんパノラマ**］をタッチすると、撮影する範囲を STD［**標準（180°）**］（初期設定）、または WIDE［**ワイド（360°）**］から選べます。
- かんたんパノラマで撮影した画像は、1 コマ再生して ▶ をタッチすると、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。

→「かんたんパノラマの使い方（撮影と再生）」（⚯3）

パノラマ写真をプリントするときのご注意

パノラマ写真をプリントする場合、プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。
詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

ペット

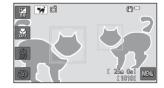
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、ピントが合うと自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- MENU をタッチして［**連写**］をタッチすると、連写の設定を変更できます。
  - ［**単写**］：1 コマずつ撮影します。
  - ［**連写**］（初期設定）：検出した顔にピントが合うと、自動で 3 コマ連写します。手動でシャッターをきるときは、シャッターボタンを全押ししている間、約 19 コマ連写できます。連写速度は約 2 コマ / 秒です（［**画像モード**］が ［**4608 × 2592**］のとき）。

ペット自動シャッターについて

- 設定を変更するには、MENUをタッチして［**ペット自動シャッター**］をタッチします。
  - ON［**ON**］（初期設定）：ペットの顔を検出するとピントを合わせ、自動でシャッターをきります。
  - OFF［**OFF**］：ペットの顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンまたは、タッチシャッター（□69）でシャッターをきります。人物の顔も認識します（□75）。ペットと人物の顔を同時に検出したときは、ピントはペットの顔に合わせます。
- 以下の場合は［**ペット自動シャッター**］が自動的に［**OFF**］になります。
  - 自動シャッターによる連写を5回繰り返したとき
  - 撮影中に内蔵メモリーまたはSDカードの残量がなくなったとき

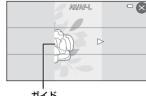
  ［**ペット自動シャッター**］での撮影を続けるときは、MENUをタッチして［**ペット自動シャッター**］を［**ON**］に再設定してください。

AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い二重枠のAF エリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が緑色になります。
- 犬や猫の顔を複数（最大5匹）検出したときは、画面内で最も大きい顔が二重枠のAFエリア表示で、それ以外の顔が一重枠で囲まれます。
- ペットや人物の顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。

［ペット］についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 被写体との距離や動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。

3D 3D撮影

- 3D対応のテレビやモニターで立体的に表示するため、左目用と右目用の2コマを撮影します。
- シャッターボタンまたはタッチシャッターで1コマ目を撮影したら、画面のガイドに被写体が重なるようにカメラを右に水平移動します。被写体が重なったことをカメラが検知すると、自動的に2コマ目のシャッターがきれます。
- ピントは、1コマ目の撮影時に画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AEで（□69）、ピントを合わせるエリアを変えられます。
- ピントと露出およびホワイトバランスは、1コマ目の撮影で固定され、画面に AE/AF-L が表示されます。

- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 保存される画像サイズは 2M（1920 × 1080）になります。
- 撮影した2コマは、3D画像（MPOファイル）として保存されます。このとき、1コマ目（左目用）のJPEGファイルも同時に保存されます。

いろいろな撮影

3D撮影についてのご注意

- 動く被写体は3D撮影に適していません。
- カメラと被写体との距離が離れているほど、立体感が出にくくなります。
- 被写体が暗いときや、2コマ目の撮影時に画像の重ね合わせが充分でない場合は、立体感が出にくいことがあります。
- 暗い場所で撮影すると、画像にノイズが現れることがあります。
- 望遠側のズーム位置は、35mm判換算で120 mm相当の撮影画角までに制限されます。
- 1コマ目の撮影後に⊗をタッチするか、被写体とガイドの重なりを10秒以内にカメラが検知できないときは、撮影がキャンセルされます。
- 2コマ目の撮影で、ガイドに被写体を重ね合わせても自動撮影が作動せず、撮影がキャンセルされる場合は、シャッターボタンまたはタッチシャッターによる手動撮影をお試しください。
- 3D動画は撮影できません。

3D画像の再生方法

- カメラの液晶モニターでは3D（立体）で再生できません。左目用の画像のみで再生されます。
- 3D（立体）で見るには、3D対応のテレビまたはモニターが必要です。カメラを3D対応のHDMIケーブルで接続すると（□86）、3Dで再生できます。
- カメラをHDMI ケーブルで接続するときは、セットアップメニュー（□104）→［**TV出力設定**］を以下に設定してください。
  - ［**HDMI**］：［**オート**］（初期設定）または［**1080i**］
  - ［**HDMI 3D 出力**］：［**ON**］（初期設定）
- カメラをHDMI 接続して再生しているときは、3D以外の画像との表示の切り換えに時間がかかることがあります。3D（立体）で再生している画像は拡大表示できません。
- テレビまたはモニターの設定は、お使いのテレビまたはモニターの説明書をご確認ください。

3D再生についてのご注意

3D画像を3D対応のテレビまたはモニターで長時間見続けると、眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。お使いのテレビまたはモニターの説明書をよくご覧になり、適切に使用してください。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする ➔ （撮影モード）ボタン ➔ スペシャルエフェクトモード ➔ 効果の選択 ➔ OK

以下の11種類の効果の中から選べます。

種類	内容
SOFT ソフト（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SEPIA ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
HI ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
LO ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。
VIVID 極彩色	画像全体の色を強調し、コントラストがはっきりした写真にします。
トイカメラ風 1	画像全体を黄色がかった色合いにし、さらに周囲を暗めに表現します。
トイカメラ風 2	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。
クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気を表現します。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッターまたはタッチAF/AE（□69）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- ［**セレクトカラー**］または［**クロスプロセス**］を選んだときは、スライダーをタッチまたはドラッグして色を選びます。
  色を選び終わったら、X をタッチしてスライダーを非表示にしてください。再表示するには、▪をタッチします。

スペシャルエフェクトモードの設定を変える

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（□57）
- MENU をタッチすると、スペシャルエフェクトモードで設定できるメニュー項目が表示されます。→「MENUで設定できる機能（撮影メニュー）」（□68）

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。また、美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにします。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ ☺ ベストフェイスモード

1 構図を決める

・ 人物の顔にカメラを向けてください。→「顔認識撮影について」（□75）

2 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

・ カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。→［**笑顔自動シャッター**］（□70）
・ シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。

3 撮影を終了する

・ 笑顔検出による自動撮影を終了するには、以下の操作を行います。
  - ［**笑顔自動シャッター**］（□70）を［**OFF**］にする
  - ◘ボタンを押して他の撮影モードに切り換える
  - 電源をOFFにする

ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」→□76

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（□105）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

手動でシャッターをきるには

- シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- ［**笑顔自動シャッター**］が［**OFF**］のときは、タッチシャッターが使えます（□69）。

ベストフェイスモードの設定を変える

- フラッシュモード、セルフタイマーまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（□57）
- MENUをタッチすると、ベストフェイスモードで設定できるメニュー項目が表示されます。→「MENUで設定できる機能（撮影メニュー）」（□68）

組み合わせて使えない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。

- シーンモードの［**おまかせシーン**］（□42）、［**ポートレート**］（□42）または［**夜景ポートレート**］（□43）
- ベストフェイスモード（□54）

撮影後にも、記録した画像に［**メイクアップ効果**］で［**美肌**］などの編集ができます（□84）。

美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。
- シーンモードの［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］では、美肌効果の度合いは設定できません（おまかせシーンモードで切り換わった場合を含む）。

撮影の基本設定

撮影時に画面左のアイコンをタッチすると、以下の機能を設定できます。

1 露出補正
2 マクロモード
3 セルフタイマー
4 フラッシュモード

- アイコンが非表示のときは DISP をタッチします。

設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

- 各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」（□66）をご覧ください。

機能	（オート撮影）	シーン	スペシャルエフェクト	ベストフェイス
フラッシュモード（□58）	○	※1	○	○※2
セルフタイマー（□61）	○		○	○※2
マクロ（□63）	○		○	×
露出補正（□65）	○		○	○

※1 シーンによって異なります。→「初期設定一覧」（□66）

※2 ベストフェイスメニューの設定によって異なります。→「初期設定一覧」（□66）

フラッシュを使う（フラッシュモード）

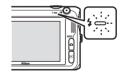
フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 フラッシュモードアイコンをタッチする

2 設定したいフラッシュモードのアイコンをタッチする

- フラッシュモードの種類→□59
- 設定せずに撮影画面に戻るには、⊃をタッチします。

フラッシュランプについて

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。
  - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
  - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
  - 消灯：発光しません。
- バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.5～6.2 m、望遠側で約1.2～2.9 mです（ISO感度設定がオート時）。

フラッシュモードの種類

$AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
$◎	**赤目軽減自動発光**
	人物撮影に適しており、フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します（□60）。
⊛	**発光禁止**
	フラッシュは発光しません。 ・暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
$	**強制発光**
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
$☆	**スローシンクロ**
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。 夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
  →「設定できる機能の種類」（□57）
  →「初期設定一覧」（□66）
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。
- ◘（オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。
画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒または2秒後にシャッターをきります。
自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときに使うと便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□104）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

1 セルフタイマーアイコンをタッチする

2 **10s**または**2s**をタッチする

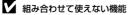
- **10s**（10秒）：記念撮影などに適しています。
- **2s**（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 設定せずに撮影画面に戻るには、⊖をタッチします。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

いろいろな撮影

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

組み合わせて使えない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（📖71）。

マクロ（接写）モードを使う

最短で、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
草花などの小さな被写体を大きく写したいときなどに便利です。

1 マクロモードアイコンをタッチする

2 ONをタッチする

- 設定せずに撮影画面に戻るには、をタッチします。

3 ズームレバーを操作し、マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 被写体に近づいて撮影できる距離は、ズーム位置によって異なります。
  マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約30 cmまでの被写体にピント合わせができます。
  最も広角側のズーム位置（マークの位置）では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。

フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

オートフォーカスについて

静止画を撮影する場合、マクロモードにすると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。常にピントを合わせる動作音がします。

マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、マクロモードを使えません。→「初期設定一覧」（□66）
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。
- （オート撮影）モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

画像全体の明るさを明るく、または暗く調整できます。

1 露出補正アイコンをタッチする

2 ■ または ■ をタッチして補正値を変更する

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「+」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「−」側に設定します。
- スライダーバーをドラッグしても補正値を変更できます。

3 シャッターボタンを押して撮影する

- 撮影せずに設定画面を終了するには、■をタッチします。
- 露出補正を解除するときは、手順1に戻って補正値を［**0**］にします。

露出補正の設定について

■（オート撮影）モードの場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ（58）	セルフタイマー（61）	マクロ（63）	露出補正（65）
（オート撮影）（38）	AUTO	OFF	OFF	0.0
（スペシャルエフェクト）（52）	AUTO	OFF	OFF	0.0
（ベストフェイス）（54）	AUTO※1	OFF※2	OFF※3	0.0
シーン				
（42）	AUTO※4	OFF	OFF※5	0.0
（42）		OFF	OFF※3	0.0
（42）	※3	OFF	OFF※3	0.0
（43）	※3	OFF※3	OFF※3	0.0
（43）	※6	OFF	OFF※3	0.0
（44）	※7	OFF	OFF※3	0.0
（44）	AUTO	OFF	OFF※3	0.0
（44）	AUTO	OFF	OFF※3	0.0
（44）	※3	OFF	OFF※3	0.0
（44）	※3	OFF	OFF※3	0.0
（45）	※3	OFF	OFF※3	0.0
（45）		OFF	ON※3	0.0
（46）	※3	OFF	ON※3	0.0
（46）	※3	OFF	OFF	0.0
（46）	※3	OFF※3	OFF※3	0.0※3
（46）		OFF	OFF	0.0

	フラッシュ（□58）	セルフタイマー（□61）	マクロ（□63）	露出補正（□65）
✎（□47）	–	–	–	–
◧（□47）	⚡※8、⊛※8	OFF	OFF※3	0.0
⊏⊐（□48）	⊛※3	OFF※3	OFF※3	0.0
🐈（□49）	⊛※3	OFF※3	OFF	0.0
3D（□50）	⊛※3	OFF※3	OFF	0.0

※1 ［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。

※2 ［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると設定できます。

※3 変更できません。

※4 判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。⊛（発光禁止）に変更できます。

※5 変更できません。✿に判別されるとマクロモードになります。

※6 変更できません。赤目軽減で強制発光します。

※7 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。

※8 ［**HDR**］の［**OFF**］時は⚡（強制発光）に、［**HDR**］の［**ON**］時は⊛（発光禁止）に固定されます。

組み合わせて使えない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。

MENUで設定できる機能（撮影メニュー）

撮影モードでMENUをタッチすると、以下のメニューを設定できます（□10）。

設定できるメニューは、撮影モードによって、以下のように異なります。

	オート撮影	シーン※2	スペシャルエフェクト	ベストフェイス
画像モード※1	○	○	○	○
タッチ撮影	○	○	○	○
ISO感度設定	○	×	×	×
連写	○	×	×	×
ホワイトバランス	○	×	×	×
クイックエフェクト	○	×	×	×
AFエリア選択	○	×	×	×
美肌効果	×	×	×	○
目つぶり軽減	×	×	×	○
笑顔自動シャッター	×	×	×	○

※1 設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。
※2 シーンによっては、他の項目を設定できます。→「シーンモードの種類と特徴」（□42）

撮影メニューの種類

項目	内容	📖
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます。	49
タッチ撮影	タッチ撮影の種類を［**タッチシャッター**］（初期設定）、［**ターゲット追尾**］または［**タッチ AF/AE**］から選べます。［**ターゲット追尾**］は、（オート撮影）モードでのみ選べます。	51
ISO ISO感度設定	被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。［**オート**］（初期設定）、［**感度制限オート**］、または［**125、200、400、800、1600、3200**］から選んで固定できます。［**オート**］では、カメラが自動でISO感度を設定します。［**感度制限オート**］では、［**ISO 125-400**］または［**ISO 125-800**］からISO感度の範囲を選べます。	58
連写	連続撮影の設定をします。［**単写**］（初期設定）、［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］から選べます。	59
WB ホワイトバランス	画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。［**オート**］（初期設定）、［**プリセットマニュアル**］、［**晴天**］、［**電球**］、［**蛍光灯**］、［**曇天**］または［**フラッシュ**］から選べます。	62
クイックエフェクト	クイックエフェクト機能（📖39）のON/OFFを設定します。初期設定は［**ON**］です。	65

項目	内容	📖
AFエリア選択	AF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を設定します。[**中央**]（初期設定）または［**ターゲットファインドAF**］（📖74）から選べます。	66
美肌効果	美肌効果の度合いを選びます。[**OFF**]以外にすると、人物の肌（顔）をなめらかにしてから画像を記録します。初期設定は［**標準**］です。	67
目つぶり軽減	［**ON**］にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。フラッシュは使えません。 初期設定は［**OFF**］です。	68
笑顔自動シャッター	［**ON**］（初期設定）にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。セルフタイマーは同時に使えません。	68

いろいろな撮影

組み合わせて使えない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（📖71）。

組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写（□69）	［**単写**］以外にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減（□70）	［**目つぶり軽減**］を［**ON**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	ターゲット追尾（□69）	タッチ撮影を［**ターゲット追尾**］にすると、セルフタイマーは使えません。
	笑顔自動シャッター（□70）	［**笑顔自動シャッター**］で撮影するときは、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	ターゲット追尾（□69）	タッチ撮影を［**ターゲット追尾**］にすると、マクロモードは使えません。
画像モード	連写（□69）	連写の設定によって、［**画像モード**］は以下に固定されます。 ・［**高速連写 120 fps**］時：VGA（画像サイズ：640 × 480 ピクセル） ・［**高速連写 60 fps**］時：1M（画像サイズ：1280 × 960 ピクセル） ・［**マルチ連写**］時：5M（画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル）
タッチ撮影	笑顔自動シャッター（□70）	［**笑顔自動シャッター**］で撮影するときは、［**タッチ撮影**］は使えません。
	ペット自動シャッター（□49）	［**ペット自動シャッター**］で撮影するときは、［**タッチ撮影**］は使えません。
ISO感度設定	連写（□69）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］または［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**ISO 感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。

制限される機能	設定	内容
連写	セルフタイマー（□61）	［**連写**］を［**先取り撮影**］に設定時、セルフタイマーで撮影するときは、［**単写**］に固定されます。
	タッチシャッター（□69）	［**連写H**］、［**連写L**］、［**先取り撮影**］、［**高速連写120fps**］、［**高速連写60fps**］、および［**BSS**］は1コマずつの撮影になります。
クイックエフェクト	連写（□69）	連写したときは、撮影時のクイックエフェクト機能は使えません。
AFエリア選択	ターゲット追尾（□69）	タッチ撮影を［**ターゲット追尾**］にすると、［**AFエリア選択**］は設定できません。
	ホワイトバランス（□69）	［**ターゲットファインドAF**］時、［**ホワイトバランス**］を［**オート**］以外に設定すると、主要な被写体は検出しません。
モニター設定	クイックエフェクト（□69）	［**クイックエフェクト**］を［**ON**］にすると、［**撮影後の画像表示**］は［**ON**］に固定されます。
デート写し込み	連写（□69）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］にして撮影するときは、日付を写し込めません。
モーション検知	ターゲット追尾（□69）	タッチ撮影を［**ターゲット追尾**］にすると、［**モーション検知**］は作動しません。
	ISO感度設定（□69）	ISO感度を［**オート**］以外にすると、［**モーション検知**］は作動しません。
	連写（□69）	［**単写**］または［**BSS**］以外にして撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
電子ズーム	ターゲット追尾（□69）	タッチ撮影を［**ターゲット追尾**］にすると、電子ズームは使えません。
	連写（□69）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。

制限される機能	設定	内容
シャッター音	連写（□69）	［**単写**］以外にして撮影するときは、シャッター音は鳴りません。
目つぶり検出設定	連写（□69）	［**単写**］以外にして撮影するときは、目つぶり検出をしません。

電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません（⚭100）。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。

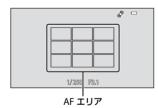
ピントについて

ターゲットファインドAFについて

◘（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ [+] AFエリア選択 ➔ [■] ターゲットファインドAF

シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。ピントが合うと、被写体に合った大きさのAFエリア表示が緑色に点灯します（最大3カ所）。
  カメラが人物の顔を検出したときは、その人物を優先してピントを合わせます（顔認識撮影）。

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
  - 画面内の明るさが非常に暗い、または明るい
  - 主要被写体の色に特徴が少ない
  - 主要被写体が画面の周辺部にある
  - 主要被写体が同じパターンを繰り返す
- 以下の場合、主要な被写体の検出動作は行いません。
  - ［**ホワイトバランス**］を［**オート**］以外に設定時

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

撮影モード	認識する顔の数	AFエリア（二重枠）
シーンモードの［**おまかせシーン**］（□42）、［**ポートレート**］（□42）、［**夜景ポートレート**］（□43）	最大12人	カメラに最も近い顔
シーンモードの［**ペット**］（［**ペット自動シャッター**］が［**OFF**］のとき）（□49）	最大12人※1	カメラに最も近い顔※2
ベストフェイスモード（□54）	最大3人	画面中央に最も近い顔

※1 人物とペットを一緒に撮影するときに認識できる顔の数は、人物とペットを合わせて最大12です。

※2 ペットと人物の顔を同時に認識したときは、ペットの顔にピントが合います。

- 一重枠で囲まれた顔をタッチすると、タッチした顔にAFエリアを変更できます（笑顔自動シャッター（□68）を［**ON**］に設定時を除く）。
- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：
  - ［**おまかせシーン**］では、自動判別した撮影シーンによってAFエリアが変わります。
  - ［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、またはベストフェイスモードでは、画面中央にピントが合います。
  - ［**ペット**］では、ペット検出時はペットの顔にピントが合います。ペット検出していないときは、画面中央にピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（📖77）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、「フォーカスロック撮影」（📖78）をお試しください。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。

また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（□78）をお試しください。

フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。
ここでは、◘（オート撮影）モードで［**AFエリア選択**］（□70）を［**中央**］に設定した場合のフォーカスロックの操作方法を説明します。

1 被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AF エリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

3 半押ししたまま構図を変える

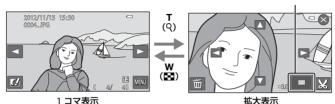
- 被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

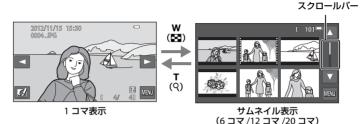
いろいろな再生

この章では、再生する画像を絞り込む方法や再生時に使える機能について説明しています。

拡大表示

再生モードの1コマ表示（□32）でズームレバーを**T**（Q）方向に回すか、画像を2回すばやくタッチすると、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

- 拡大率を調節するには、ズームレバー（**W**（■）/**T**（Q））を操作します。約10倍まで拡大できます。
- 表示位置を移動するには、画像をドラッグするか、▲▼◀▶をタッチします。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回して拡大表示した場合、顔認識（□75）またはペット検出（□49）して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します（連写した画像を除く）。複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、■または■をタッチすると表示する顔が切り換わります。さらに**T**（Q）方向または**W**（■）方向に回すと拡大率が変わり、通常の拡大表示になります。
- 🗑をタッチすると、画像を削除できます。
- ✂ をタッチすると、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます（⚯32）。
- ✖をタッチするか、画像を2回すばやくタッチすると、1コマ表示に戻ります。

サムネイル表示

再生モードの1コマ表示（📖32）でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

- 複数の画像を同時に表示するので、目的の画像を探しやすくなります。
- 表示コマ数は、ズームレバー（**W**（▦）**/T**（Q））で変更できます。
- 液晶モニターを上下にドラッグするか、▲または▼をタッチするか、またはスクロールバーを上下にドラッグすると、画面をスクロールできます。
- 画像をタッチすると、タッチした画像を1コマ表示します。

再生する画像を絞り込む

再生モードの種類を切り換えると、画像を絞り込んで再生できます。

再生モードの種類

▶	**再生**	32
	画像を絞り込まずに、撮影したすべての画像を再生します。撮影モードから再生モードに切り換えると、このモードになります。	
★	**お気に入り再生**	7
	お気に入りフォルダーに登録した画像のみを再生します。このモードに切り換える前に、お気に入りフォルダーへの画像登録が必要です（84）。	
AUTO	**オート分類再生**	11
	撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目別に自動で分類されます。	
12	**撮影日一覧**	13
	選択した撮影日の画像を再生します。	

再生モードの切り換え方法

1 1 コマ表示またはサムネイル表示中に▶ボタンを押す

- 再生モードの種類を選ぶ画面（再生モードメニュー）が表示されます。

2 設定したい再生モードのアイコンをタッチする

- ▶［**再生**］を選んだときは、再生画面になります。
- ▶［**再生**］以外を選んだときは、お気に入りフォルダー、分類、または撮影日の選択画面になります。
- 再生モードの種類を切り換えずに再生に戻るには、▶ボタンを押します。

3 お気に入りフォルダー、分類、または撮影日をタッチする

- ★ お気に入り再生→⚮7
- AUTO オート分類再生→⚮11
- 12 撮影日一覧→⚮13
- お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び直すときは、手順1から繰り返してください。

MENUで設定できる機能（再生メニュー）

1コマ表示中にMENUをタッチすると、以下のメニュー操作ができます（10）。

項目	内容	
お気に入り登録	お気に入りの画像を選んで登録します。 お気に入り再生モードのときは、表示されません。	7
お気に入り解除	お気に入り登録を解除します。 お気に入り再生モードのときのみ、表示されます。	9
削除※1	画像や動画を削除します。	34
スライドショー※1	内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	69
プロテクト設定※1	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	71
プリント指定※1、2	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。	73
ペイント※3、4	撮影した画像に絵を描いたり、スタンプを押したりできます。	22
画像編集※3、4	撮影した画像を編集できます。編集機能には［**簡単レタッチ**］、［**D-ライティング**］、［**スリム効果**］、［**アオリ効果**］、［**メイクアップ効果**］、［**スモールピクチャー**］があります。	17
	［**画像回転**］で、撮影後にカメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定できます。	77

項目	内容	📖
🎙 **音声メモ**※4	撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声メモを付けます。音声メモの再生や削除もできます。	➡78
画像コピー※1、5	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。	➡80
連写の代表画像選択※4	連写した一連の画像（連写グループ→📖33）の代表画像を変更します。 セットアップメニュー［**連写グループ表示方法**］（📖105）が［**1枚ずつ**］のときは、設定できません。	➡82

※1 サムネイル表示にしても設定できます。

※2 ［**3D撮影**］（📖50）で撮影した画像は設定できません。

※3 ［**画像回転**］を除き、画像を編集し、元画像とは別に保存します。［**かんたんパノラマ**］（📖48）または［**3D撮影**］（📖50）で撮影した画像の編集ができない、同じ種類の編集の繰り返しができないなどの制限があります（➡18、➡19）。

※4 連写グループの画像は、代表画像のみで表示中は設定できません。▶をタッチして1コマずつ展開して表示すると設定できます。

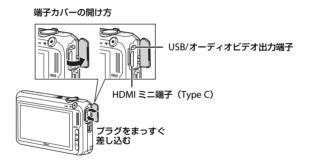
※5 お気に入り再生モード、オート分類再生モード、撮影日一覧モードのときは、選べません。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラのバッテリー残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する

E34

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：付属のオーディオケーブル（AVケーブル）の映像プラグと音声プラグ（ステレオ）をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMI ケーブル（Type C）を、テレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

88

パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属 CD-ROM「ViewNX 2」を使って、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。付属 CD-ROM「ViewNX 2」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、88 ページをご覧ください。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の USB 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、SD カードなどが壊れるおそれがあります。

パソコンを使わずにプリントする

E39

PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブル をプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。付属CD-ROM「ViewNX 2」を使ってインストールできます。

ViewNX 2をインストールする

- **インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。**

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate (Service Pack 1)
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

- Mac OS X（version 10.6.8、10.7.4）

対応OSに関する最新情報、動作環境については、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROM「ViewNX 2」をCD-ROMドライブに入れる

- Mac OS：［**ViewNX 2**］ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の［**Welcome**］アイコンをダブルクリックします。

2 ［言語選択］ダイアログで言語を選択し、［Welcome］ウィンドウを開く

- ［**言語選択**］ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、［**地域選択**］をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- ［**次へ**］をクリックすると、［**Welcome**］ウィンドウが開きます。

3 インストールを開始する

- インストールをする前に、［**Welcome**］ウィンドウの［**インストールガイド**］をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- ［**Welcome**］ウィンドウの［**インストール（推奨）**］をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- ［**ソフトウェアのダウンロード**］画面が表示されたら、［**同意して、ダウンロード開始**］をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows：[**はい**] をクリックします。
- Mac OS：[**OK**] をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

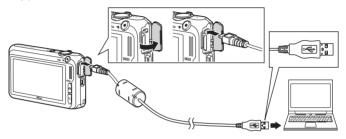
- ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
  - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
  - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
  - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker（複数コマに分割して撮影した風景などを、1枚のパノラマ写真に合成できます）

6 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFF にしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する。カメラの電源が自動的にONになります。
  内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。

- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SDカードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7 をお使いの場合**
  右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

  1［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む - Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックする
  2［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- Nikon Transfer 2の［**オプション**］の［**転送元**］に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
- ［**転送開始**］ボタンをクリックします（②）。

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。

3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にして、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

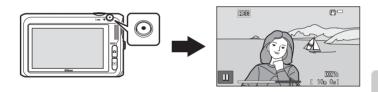
ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2のヘルプを参照してください。

 ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックします。

動画を撮影、再生する

● （▶📹動画撮影）ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。

動画を撮影する

●（▶︎🎥動画撮影）ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。

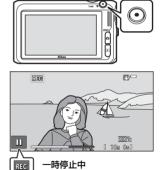
1 撮影画面を表示する

- 動画は、どの撮影モード（📖26）を選んでいても撮影できます（手書きメモを除く）。

動画の記録可能時間

2 ●（▶︎🎥動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- 内蔵メモリーへの記録中は、INが表示されます。
- ⏸ をタッチすると撮影を一時停止します（HS動画を除く→📖99）。RECをタッチすると撮影を再開します。
- 撮影を一時停止してから約5分経過するか、記録可能な残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。

一時停止中

3 ●（▶︎🎥動画撮影）ボタンを押して撮影を終了する

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（☆22）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 電子ズームを使うと、画質は劣化します。動画撮影時は、光学ズームの最大倍率の約4倍まで作動します。
- 電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、10秒後に撮影が自動終了します。
  自動終了までの残りの秒数（10s）が画面に表示されます。
  自動終了後、電源もOFFになります。
  カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（77）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの［**動画AFモード**］（99）をAF-S［**シングルAF**］（初期設定）にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画の記録可能時間

動画設定（99）	SDカード（4 GB）※
1080p★ HD 1080p★（1920×1080）（初期設定）	約25分
1080p HD 1080p（1920×1080）	約40分
720p HD 720p（1280×720）	約50分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。内蔵メモリー（約78MB）使用時の記録可能時間の目安は、撮影時の画面でご確認ください。

※ 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。バッテリー使用時はフル充電であっても、連続撮影可能時間に達する前にバッテリー残量がなくなり、動画撮影が終了することがあります（19）。また、カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

動画撮影で使える機能

- 露出補正、およびホワイトバランスの設定も撮影する動画に反映します。シーンモード（40）のシーンエフェクト調整スライダーの設定やスペシャルエフェクトモード（52）での色合いも動画に反映します。マクロモードのときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（61）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、画面中央でピントが合い、10秒または2秒後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前にMENUをタッチすると、動画メニューの設定ができます（99）。
- セットアップメニューの［**モニター設定**］（104）の［**モニター表示設定**］で［**動画枠＋情報AUTO**］にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。

MENUで設定できる機能（動画メニュー）

撮影モードでMENUをタッチすると、以下のメニューを設定できます（□10）。動画メニューが表示されていないときは、▼をタッチして画面を下にスクロールしてください。

項目	内容	□
動画設定	撮影する動画の種類を選びます。 • 通常速度の動画とスローモーション再生や早送り再生ができるHS（ハイスピード）動画があります。	➡83
HS動画で記録開始	［**動画設定**］でHS動画を選択したときに、撮影開始からHS動画で記録するかどうかを選びます。初期設定は［**ON**］です。 ［**OFF**］にすると、通常速度の動画で記録を開始します。撮影中に画面右下に表示される「HS切り換えアイコン」をタッチすると、HS動画での記録に切り換わります。	➡87
動画AFモード	動画撮影開始時のピントに固定するAF-S［**シングルAF**］（初期設定）、または動画撮影中にピント合わせを繰り返すAF-F［**常時AF**］を選べます。 AF-F［**常時AF**］にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、AF-S［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。 • ［**動画設定**］でHS動画を選択したときは、AF-S［**シングルAF**］に固定されます。	➡88
風切り音低減	動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。 • ［**動画設定**］でHS動画を選択したときは、OFF［**OFF**］に固定されます。	➡88

動画を再生する

▶ボタンを押して再生モードにします。
動画設定（□99）のアイコンが表示されている画像が動画です。
▶をタッチすると、再生できます。
- MENUをタッチして🔊をタッチすると、再生前に音量を調節できます（□10）。

動画の削除
「ステップ6　画像を削除する」（□34）をご覧ください。

動画を撮影、再生する

動画再生中の操作

再生中に液晶モニターをタッチすると、画面下に操作パネルが表示されます。操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。

<table>
<tr><th>機能</th><th>アイコン</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>音量</td><td></td><td colspan="2">タッチすると、音量を調節できます。※</td></tr>
<tr><td>巻き戻し</td><td></td><td colspan="2">タッチしている間、巻き戻します。</td></tr>
<tr><td>早送り</td><td></td><td colspan="2">タッチしている間、早送りします。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">一時停止</td><td rowspan="5"></td><td colspan="2">タッチすると、一時停止します。
一時停止中に以下の操作ができます。</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチすると、1コマ戻ります。触れ続けると、連続してコマ戻しします。</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチすると、1コマ進みます。触れ続けると、連続してコマ送りします。</td></tr>
<tr><td></td><td>画面中央に表示されるをタッチすると、再生を再開します。</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチすると動画の編集画面になり、動画の必要な部分だけを切り出して保存できます。</td></tr>
<tr><td>再生終了</td><td></td><td colspan="2">タッチすると、1コマ表示に戻ります。</td></tr>
</table>

※ 再生中にズームレバー **T**/ **W**を回しても音量を調整できます。

動画再生について

COOLPIX S6400以外で撮影した動画は再生できません。

カメラに関する基本設定

この章では、Yセットアップメニューで設定できる項目の種類を説明しています。

- 設定できる項目のより詳しい説明は、「詳細編　セットアップメニュー」(➡89)をご覧ください。

MENUで設定できる機能（セットアップメニュー）

MENUをタッチして、Y［**セットアップ**］をタッチすると、以下のメニューを設定できます（□10）。Y［**セットアップ**］が表示されていないときは、▼をタッチして画面を下にスクロールしてください。

項目	内容	□
オープニング画面	カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。	⚯89
地域と日時	内蔵時計を合わせます。	⚯90
モニター設定	モニター表示設定や画面の明るさを設定します。	⚯93
デート写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。	⚯95
手ブレ補正	撮影するときの手ブレ補正を設定します。	⚯97
モーション検知	静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。	⚯98
AF補助光	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	⚯99
電子ズーム	［**ON**］（初期設定）時は、光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、電子ズームが作動します（□29）。	⚯100
操作音	操作音について設定します。	⚯101

項目	内容	📖
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。	➡102
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	➡103
言語/Language	画面に表示する言語を設定します。	➡104
TV出力設定	テレビとの接続に必要な設定をします。	➡105
パソコン接続充電	［**AUTO**］（初期設定）時は、パソコンと接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。 • パソコンで充電する場合、本体充電 AC アダプター EH-69P 使用時に比べて、充電に時間がかかります。	➡106
目つぶり検出設定	顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。	➡108
連写グループ表示方法	連写した画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。	➡110
Eye-Fi送信機能	市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうかを設定します。	➡111
設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。	➡112
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	➡116

詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。

撮影

再生

メニュー

資料

手書きメモの使い方

タッチパネルで文字や絵を描いて、画像として保存します。保存される画像サイズは VGA（640×480）になります。

撮影画面にする ➔ 📷（撮影モード）ボタン ➔ SCENE シーンモード ➔ ✎（手書きメモ）

1 文字や絵を描く

- ✎（ペン）をタッチして、文字や絵を描きます（E23）。
- ◇（消しゴム）をタッチすると、文字や絵を消せます（E23）。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと、画像を全画面に表示し、もう一度ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、3倍に拡大表示できます。表示範囲を移動するには、▲▶▼◀をタッチします。拡大表示を終了するには、ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。

2 OKをタッチする

- OKをタッチする前に、↩をタッチすると、ペン、消しゴムで行った動作を取り消して、ひとつ前の状態に戻ります（最大5回前まで）。
- 描いた内容を保存せずに終了するには、✖をタッチします。確認画面が表示されたら［**はい**］をタッチします。

3 ［はい］をタッチする

- メモが保存されます。

かんたんパノラマの使い方（撮影と再生）

かんたんパノラマの撮影方法

撮影画面にする ➔ 🔳（撮影モード）ボタン ➔ SCENE シーンモード ➔
▭（かんたんパノラマ）

撮影する範囲をSTD［**標準（180°）**］（初期設定）またはWIDE［**ワイド（360°）**］から選べます。→「撮影する範囲を変更するには」（6-6 4）

1 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

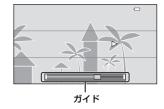
- ズーム位置は、広角側に固定されます。
- 画面に格子のガイドが表示されます。
- 画面中央でピントを合わせます。
- 露出補正（□65）が設定できます。
- 主要被写体にピントや露出が合わないときは、フォーカスロック撮影（□78）をお試しください。

2 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- カメラを動かす方向を示す▷マークが表示されます。

詳細編

3 カメラを4方向のいずれかに、まっすぐゆっくりと動かし、撮影を開始する

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 現在の撮影地点を示すガイドが表示されます。
- 撮影地点を示すガイドが端まで到達すると撮影が終了します。

撮影する範囲を変更するには

- かんたんパノラマで MENU をタッチし、STD/WIDE［**かんたんパノラマ**］をタッチして、STD［**標準（180°）**］または WIDE［**ワイド（360°）**］をタッチします。
- カメラを横位置で構えたときの画像サイズ（ヨコ×タテ）は、以下のとおりです。
  - ［**標準（180°）**］：水平に移動時3200×560、垂直に移動時1024×3200
  - ［**ワイド（360°）**］：水平に移動時6400×560、垂直に移動時1024×6400
  - カメラを縦位置で構えたときの画像サイズは、移動方向とタテとヨコの組み合わせが入れ替わります。

カメラの動かし方の例

- 撮影者は動かずに、カメラを水平方向、または垂直方向に円弧を描くように、ガイドの端から端まで動かします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒（[**標準（180°）**］時）、または約30秒（[**ワイド（360°）**］時）が経過すると撮影は終了します。

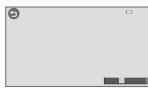
詳細編

かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

かんたんパノラマで撮影した画像の再生方法

再生モードにして（□32）、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示すると、▣が表示されます。

▣をタッチすると、画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。
画面をドラッグすると（□4）、指の動きに合わせて表示範囲をスクロールすることもできます。

画面をタッチして、以下の操作ができます。

機能	操作	
一時停止	画面をタッチすると、一時停止します。	
	手動スクロール	一時停止中に画面をドラッグすると、指の動きに合わせて表示範囲をスクロールします。
	自動スクロール再開	一時停止中に画面をタッチすると、自動スクロールを再開します。
再生終了	⮌をタッチします。	

詳細編

✔ かんたんパノラマ画像のスクロール再生についてのご注意

COOLPIX S6400以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

お気に入り再生モード

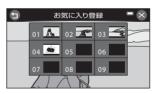
撮影した画像（動画を除く）を、9つあるお気に入りフォルダーに登録することで分類できます（登録した画像はコピーや移動はされません）。
登録後、お気に入り再生モードに切り換えると、登録した画像に絞り込んで再生できます。
- フォルダーをイベントや被写体の種類などで使い分けると、画像を探しやすくなります。
- 同じ画像を複数のフォルダーに登録できます。
- 1つのお気に入りフォルダーに登録できる画像は、最大200コマです。

お気に入りフォルダーに画像を登録する

▶ボタンを押す（再生モード）※ ➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ お気に入り登録

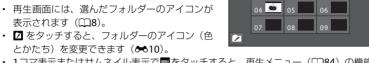
※ お気に入り再生モードでは、画像の登録はできません。

画像を登録したいお気に入りフォルダーをタッチすると、登録が完了し登録画面に戻ります。
- 別のフォルダーをタッチすると、続けて複数のフォルダーへ登録ができます。
- 画像をドラッグすると表示画像が切り換わり、登録する画像を変更できます。
- 登録を終了するには、✖をタッチします。

詳細編

お気に入りフォルダーの画像を再生する

▶ボタンを押す（再生モード）➔ ▶ボタン ➔ お気に入り再生

表示したいお気に入りフォルダーをタッチすると、選んだフォルダーに登録した画像のみを再生します。

- 再生画面には、選んだフォルダーのアイコンが表示されます（📖8）。
- をタッチすると、フォルダーのアイコン（色とかたち）を変更できます（⊶10）。

- 1コマ表示またはサムネイル表示でMENUをタッチすると、再生メニュー（📖84）の機能が選べます。

削除についてのご注意

お気に入り再生モードで画像を削除すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像も削除されますのでご注意ください。

お気に入りフォルダーの画像登録を解除する

画像を削除しないで、お気に入りフォルダーから画像の登録を解除したいときは、以下のように操作してください。

- お気に入り再生モードの 1 コマ表示で解除したい画像を選びます→ MENU をタッチして ★ をタッチすると、登録解除の確認画面が表示されます。

- ［**はい**］をタッチし、登録を解除します。

詳細編

お気に入りフォルダーのアイコンを変更する

▶ボタンを押す（再生モード）➔ ▶ボタン ➔ お気に入り再生

1 をタッチする

- アイコンとアイコンの色の選択画面になります。

2 タッチしてアイコンを選び、スライダーをタッチまたはドラッグしてアイコンの色を選んだら、OKをタッチする

- フォルダーの選択画面になります。

3 変更したいフォルダーをタッチする

- アイコンが変更されます。
- をタッチすると、アイコンとアイコンの色の選択画面に戻ります。

お気に入りフォルダーのアイコン設定についてのご注意

- お気に入りフォルダーのアイコンは、内蔵メモリーまたはSDカードごとに設定してください。
- 内蔵メモリーのお気に入りフォルダーアイコンを変更するときは、SD カードをカメラから取り出してください。
- 初期設定は数字アイコンです。

オート分類再生モード

撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目別に自動で分類されます。

▶ボタンを押す（再生モード）➔ ▶ボタン ➔ オート分類再生

表示したい分類をタッチすると、同じ分類の画像のみを再生します。

- 再生画面には、選んだ分類項目のアイコンが表示されます（□8）。
- 1 コマ表示またはサムネイル表示で MENU をタッチすると、再生メニュー（□84）の機能が選べます。

分類項目の種類と内容

項目	内容
笑顔	ベストフェイスモード（□54）で笑顔自動シャッターを［**ON**］にして撮影した画像。
人物	シーンモード（□40）の［**ポートレート**］※、［**夜景ポートレート**］※、［**パーティー**］、［**逆光**］※で撮影した画像。 ベストフェイスモード（□54）で笑顔自動シャッターを［**OFF**］にして撮影した画像。
料理	シーンモード（□40）の［**料理**］で撮影した画像。
風景	シーンモード（□40）の［**風景**］※で撮影した画像。
夜景	シーンモード（□40）の［**夜景**］※、［**夕焼け**］、［**トワイライト**］、［**打ち上げ花火**］で撮影した画像。
接写	（オート撮影）モードでマクロ（□63）に設定して撮影した画像。 シーンモード（□40）の［**クローズアップ**］※で撮影した画像。

詳細編

項目	内容
ペット	シーンモードの［ペット］（49）で撮影した画像。
動画	動画（96）。
編集済み画像	画像編集（17）で作成した画像。
その他の画像	他の分類項目に該当しない画像。

※ おまかせシーン（42）で切り換わった場合も含みます。

オート分類再生モードについてのご注意

- 1つの分類項目で表示できるのは、最大999コマです。撮影時にすでに999コマある分類項目に該当した画像/動画は、オート分類再生モードに登録できず、オート分類再生モードで表示できません。通常の再生モード（32）または撮影日一覧モード（13）で表示してください。
- 内蔵メモリーまたはSDカードからコピーした画像や動画は、オート分類再生モードでは表示できません（80）。
- COOLPIX S6400以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

撮影日一覧モード

▶ボタンを押す（再生モード）➔ ▶ボタン ➔ 撮影日一覧

表示したい日付をタッチすると、同じ撮影日の画像のみを再生します。

- 選んだ日に最初に撮影した画像から表示されます。
- 再生画面には、が表示されます（8）。
- カレンダーの月を変更するには、▲または▼をタッチします。
- 1 コマ表示またはサムネイル表示で MENU をタッチすると、再生メニュー（84）の機能が選べます。

撮影日一覧モードについてのご注意

- 撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2012年1月1日」の画像として扱われます。

詳細編

連写した画像（連写グループ）の再生と削除

連写グループの再生方法

以下の設定で撮影した画像は、撮影ごとに「連写グループ」として保存されます。

- ◘（オート撮影）モード（□38）
  - 連写 H
  - 連写 L
  - 先取り撮影
  - 高速連写 120 fps
  - 高速連写 60 fps
- シーンモード（□40）
  - スポーツ
  - ペット（［**連写**］時）

連写グループは、初期設定では再生モードの1コマ表示やサムネイル表示（□81）でグループ内の1コマ目の画像（代表画像）のみを表示します。

- 代表画像のみの表示中は拡大表示できません。

代表画像のみの表示中に ▶ をタッチすると、連写グループ内の画像を1コマずつ展開して表示します。

- 画像を切り換えるには、画像を左または右にドラッグするか、◀または▶をタッチします。
- 代表画像のみの表示に戻すには、↩ をタッチします。

- 1コマずつ展開して表示しているときは、サムネイル表示できません。連写グループ内の画像をサムネイル表示したいときは、セットアップメニュー［**連写グループ表示方法**］を［**1枚ずつ**］にしてください（⚯110）。

詳細編

連写グループの表示方法について

- セットアップメニューの［**連写グループ表示方法**］（E110）で、すべての連写グループの表示方法を代表画像のみにするか、1コマずつ展開して表示にするかを設定できます。
- COOLPIX S6400以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

連写グループの代表画像を変更する

代表画像は、再生メニューの［**連写の代表画像選択**］（E82）で変更できます。

連写グループで使える再生メニュー

MENUをタッチすると、連写グループ内の画像を対象に以下のメニュー操作ができます。

- お気に入り登録※1 →E7
- 削除 →E16
- スライドショー →E69
- プロテクト設定※1 →E71
- プリント指定※1 →E73
- ペイント※2 →E22
- 画像編集※2 →E17
- 音声メモ※2 →E78
- 画像コピー※1 →E80
- 連写の代表画像選択※2 →E82

※1 代表画像のみの表示中にMENUをタッチすると、同じ連写グループの画像をまとめて同じ設定にできます。1コマずつ展開して表示してからMENUをタッチすると、表示している画像ごとに設定できます。

※2 代表画像のみの表示中は設定できません。1コマずつ展開して表示してからMENUをタッチしてください。

連写グループの画像を削除する

セットアップメニューで［**連写グループ表示方法**］（⊶110）を［**代表画像のみ**］にしていた場合、以下の画像が削除の対象になります。削除方法を選ぶ画面を表示するには、MENUをタッチして、🗑をタッチします。

- MENUをタッチするときに、代表画像のみの表示にしている場合：
  - ［**表示画像**］： 代表画像を選択していたときは、同じ連写グループの画像をすべて削除します。
  - ［**削除画像選択**］： 削除画像の選択画面（□35）で代表画像を選ぶと、同じ連写グループの画像をすべて削除します。
  - ［**全画像**］： 表示中の連写グループ（代表画像のみの表示）を含む、すべての画像を削除します。
- MENUをタッチする前に▶をタッチして、連写グループ内の画像を1コマずつ展開して表示している場合：
  削除方法の項目が以下に変わります。
  - ［**表示画像**］： 表示している1コマを削除します。
  - ［**削除画像選択**］： 削除画像の選択画面（□35）で、連写グループ内の画像を複数選択して削除します。
  - ［**表示グループ**］： 表示している1コマを含む、同じ連写グループの画像をすべて削除します。

画像の編集（静止画）

画像編集の種類

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（E117）。

編集の種類	用途
クイックエフェクト（E20）	画像にいろいろな効果を付けます。
ペイント（E22）	画像に絵を描いたり、スタンプを押したりします。
簡単レタッチ（E25）	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング（E26）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
スリム効果（E27）	画像を横方向に伸縮します。人物を細く見せたり、太く見せたりするときなどに使います。
アオリ効果（E28）	横位置で撮影した画像の遠近感を強めたり、弱めたりします。シフトレンズのようなアオリ効果があります。建物を撮影したときなどに使います。
メイクアップ効果（E29）	人物の顔の肌をなめらかにしたり、顔を小さく見せたり、目を大きく見せたりします。
スモールピクチャー（E31）	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
トリミング（E32）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像回転についてE77ページをご覧ください。

画像編集についてのご注意

- COOLPIX S6400以外で撮影した画像は、COOLPIX S6400で編集できません。
- ［**かんたんパノラマ**］（□48）、または［**3D撮影**］（□50）で撮影した画像は編集できません。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、メイクアップ効果の編集はできません（E29）。
- オート分類再生モード（E11）の、（編集済み画像）に分類された画像が999枚のときは、画像は編集できません。
- COOLPIX S6400以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S6400で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。
- ［**手書きメモ**］（E2）で作成した画像は、ペイント、スモールピクチャー、またはトリミングだけが使えます。
- 代表画像のみの表示にしている連写グループ（E14）は、以下のいずれかの操作をしてから、編集してください。
  - をタッチして1コマずつに展開してから、グループ内の画像を選ぶ
  - セットアップメニューの［**連写グループ表示方法**］（E110）を［**1枚ずつ**］に設定し、1コマずつの表示にしてから、画像を選ぶ

画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
ペイント	ペイント、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
クイックエフェクト 簡単レタッチ D-ライティング スリム効果 アオリ効果	ペイント、スモールピクチャー、メイクアップ効果またはトリミングができます。
メイクアップ効果	メイクアップ効果以外の編集ができます。
スモールピクチャー	追加編集できません。
トリミング	追加編集できません。ただし、▣（1280×720）以上の画像サイズで保存された画像にはペイントができます。

- ペイントを除き、編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと別の編集機能を組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。
- 撮影時に美肌機能を使って撮影した画像（⚮67）にも、メイクアップ効果で美肌などの編集ができます。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- プリント指定（⚮73）やプロテクト設定（⚮71）した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像には反映されません。

クイックエフェクト

以下の30種類から効果を選べます。効果は手順2（E21）の画面で確認できます。

効果	内容
［**ポップ**］/［**極彩色**］	主に色を強調して効果を付けます。
［**絵画調**］/［**ハイキー**］/［**トイカメラ風 1**］/［**トイカメラ風 2**］/［**ローキー**］/［**クロスプロセス（赤）**］/［**クロスプロセス（黄）**］/［**クロスプロセス（緑）**］/［**クロスプロセス（青）**］	主に色合いを変化させ、雰囲気の異なる画像にします。
［**ソフト**］/［**魚眼効果**］/［**クロススクリーン**］/［**ミニチュア効果**］	画像を加工して、さまざまな効果を付けます。
［**硬調モノクローム**］/［**セピア**］/［**クール**］/［**セレクトカラー**］（12色）	カラーの画像を1色で表現します。セレクトカラーは、特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

1 効果を付けたい画像を 1 コマ表示して、をタッチする

- 効果の選択画面が表示されます。

2 効果をタッチして選ぶ

- ▲ または ▼ をタッチすると、画面をスクロールできます。

3 OKをタッチする

- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、✖をタッチします。確認画面が表示されたら［**はい**］をタッチします。

4 ［はい］をタッチする

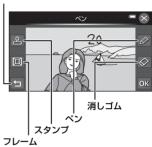
- 編集画像が作成されます。
- クイックエフェクトで作成した画像は、再生画面で が表示されます（□8）。

詳細編

ペイント

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ ペイント

1 、、、を使ってペイントする

- ペイントツールの使い方→23
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと、画像を全画面に表示し、もう一度ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと、3倍に拡大表示できます。表示範囲を移動するには、▲▶▼◀をタッチします。拡大表示を終了するには、ズームレバーを**W**（）方向に回します。
- をタッチすると、ペン、消しゴム、スタンプで行った動作を取り消して、ひとつ前の状態に戻ります（最大5回前まで）。

2 OKをタッチする

- ペイントした内容を保存せずに終了するには、をタッチします。確認画面が表示されたら［**はい**］をタッチします。

3 ［はい］をタッチする

- ペイント画像が作成されます。
- ［**画像モード**］（□69）が ［**4608×2592**］の画像は、（1920×1080）の画像サイズで保存されます。［**2272×1704**］以上の画像は（2272×1704）、［**1600×1200**］、［**640×480**］は（640×480）の画像サイズで保存されます。
- ペイントした画像は、再生画面でが表示されます（□8）。

ペイントツールの使い方

文字や絵を描く

をタッチすると、文字や絵を描けます。

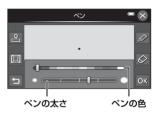
パレットでペンの色や太さを変更できます。パレットを閉じるには、をタッチするか画像をタッチします。

- 「ペンの色」スライダーをタッチまたはドラッグすると、ペンの色を選べます。
- 「ペンの太さ」スライダーをタッチすると、ペンの太さを選べます。

文字や絵を消す

をタッチすると、画像に描いた線やスタンプを消せます。

パレットで消しゴムの大きさを変更できます。パレットを閉じるには、をタッチするか画像をタッチします。

- 「消しゴムの大きさ」スライダーをタッチすると、消しゴムの大きさを選べます。

スタンプを押す

をタッチすると、スタンプを押せます。
パレットでスタンプの種類と大きさを変更できます。パレットを閉じるには、をタッチするか画像をタッチします。

- 「スタンプの種類」は、14種類から選べます。
- 「スタンプの大きさ」スライダーをタッチすると、スタンプのサイズを選べます。
- 「スタンプの種類」でを選んだときは、（年・月・日）と（年・月・日・時刻）を選べます。

スタンプの種類

スタンプの大きさ

フレームを付ける

をタッチすると、画像にフレームを付けられます。

- またはをタッチすると、7種類のフレームが順番に表示されます。

詳細編

撮影日スタンプについてのご注意

- ［**画像モード**］（49）が［**640×480**］の画像に撮影日のスタンプを押すと、日付が読みづらいことがあります。撮影するときに、［**画像モード**］を［**1600×1200**］以上にしてください。
- 年月日の並びは、セットアップメニューの［**地域と日時**］の［**日付の表示順**］（90）での設定と同じになります。
- スタンプできる日時は、撮影時点でカメラに設定されていた日時です。スタンプする日時は変更できません。

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ 画像編集 ➔ 簡単レタッチ

1 効果の度合いを選び、OKをタッチする

2 ［はい］をタッチする

- レタッチした画像が作成されます。
- 簡単レタッチで作成した画像は、再生画面でが表示されます（8）。

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ 画像編集 ➔ D-ライティング

1 OKをタッチする

- 左側に表示される画像は補正前、右側は補正後の見本です。

2 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- D-ライティングで作成した画像は、再生画面でが表示されます（8）。

詳細編

スリム効果（画像を伸縮させる）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ 画像編集 ➔ スリム効果

1 ▯または□をタッチするか、画面下のスライダーをタッチまたはドラッグして、スリム効果を調節する

2 OKをタッチする

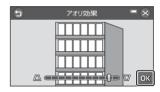
3 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- スリム効果で作成した画像は、再生画面でが表示されます（□8）。

詳細編

アオリ効果（遠近効果をつける）

ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ をタッチする ➔ 画像編集 ➔ アオリ効果

1 またはをタッチするか、画面下のスライダーをタッチまたはドラッグして、アオリの効果を調節する

2 をタッチする

3 [はい] をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- アオリ効果で作成した画像は、再生画面でが表示されます（8）。

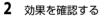
詳細編

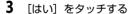
メイクアップ効果（肌をなめらかに、さらに顔を小さく目を大きく見せる）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ 画像編集 ➔ メイクアップ効果

1 ［すべて］または［美肌］をタッチする

- ［**すべて**］：美肌に加え、小顔効果、目を大きく見せる効果を追加します。
- ［**美肌**］：顔の肌をなめらかにします。
- 効果の確認画面が表示されます。

2 効果を確認する

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- ［**メイク前**］または［**メイク後**］をタッチすると、処理前の画像と処理後の画像を切り換えます。
- 編集した顔が複数あるときは、◀ または ▶ をタッチすると、顔の切り換えができます。
- 効果を変えたいときは、⮌をタッチして手順1に戻ります。
- OKをタッチすると、保存確認画面を表示します。

3 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- メイクアップ効果で作成した画像は、再生画面で（すべて）または（美肌）が表示されます（8）。

詳細編

メイクアップ効果についてのご注意

- 画像から人物の顔を検出できないときは、メイクアップ効果の編集はできません。
- 顔の向きや明るさなど、画像によっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ 画像編集 ➔ スモールピクチャー

1 作成したいスモールピクチャーのサイズのアイコンをタッチする

- ［**640×480**］、［**320×240**］、または［**160×120**］から選べます。
- ［**4608 × 2592**］の画像は、640×360のサイズになります。手順2へ進んでください。

2 OKをタッチする

3 ［はい］をタッチする

- スモールピクチャーが作成されます（圧縮率約1/16）。
- 作成した画像は、再生画面で小さく表示され、が付きます。

詳細編

✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）

拡大表示（□80）中に✂マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。

1 トリミングしたい画像を拡大表示する（□80）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを**T**（Q）または**W**（▦）方向に回して拡大率を調節します。
- 画像をドラッグするか、▲▼◀▶をタッチして表示範囲を移動します。

3 ✂をタッチする

4 [はい］をタッチする

- トリミング画像が作成されます。
- トリミングで作成した画像は、再生画面で✂が表示されます（□8）。

画像サイズについて

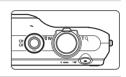
- アスペクト比（横：縦）16：9でトリミングされます。切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。
- トリミングして画像サイズが640×360になった画像は、再生画面で小さく表示されます。

縦位置の画像を縦位置のままトリミングするには

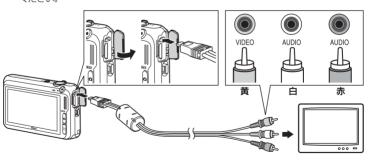
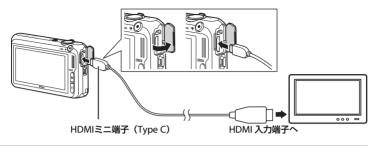
［**画像回転**］（E77）で画像を横位置に回転してからトリミングし、もう一度回転して縦位置に戻します。縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、画像は横位置になります。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

カメラをテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。HDMI端子が付いたテレビをお持ちの場合は、市販のHDMIケーブルで接続できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

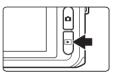
付属のオーディオビデオケーブルで接続する場合
黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白色と赤色のプラグを音声入力端子に接続してください。

詳細編

市販のHDMIケーブルで接続する場合
テレビのHDMI入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

4 カメラの▶ボタンを長押しして電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビに画像が表示されているときは、カメラの液晶モニターが消灯します。
- テレビ接続中の操作→🔗36

詳細編

テレビ接続中の操作

テレビに1コマ表示されているときに、カメラの液晶モニターをドラッグすると、前後の画像を表示できます。

動画の最初のフレームが表示されたときは、カメラの液晶モニターをタッチすると動画を再生できます。

- カメラの液晶モニターにタッチすると、テレビの表示が消え、カメラの液晶モニター表示に切り換わります。カメラ表示中はアイコンをタッチしてカメラを操作できます（HDMI接続時は再生モードのみ）。
- 以下の場合は、自動的にテレビ表示に切り換わります。
  - カメラを操作しない状態が数秒続いたとき（メニューなどの設定画面を除く）
  - スライドショーを再生したとき
  - 動画を再生したとき

HDMI接続についてのご注意

HDMIケーブルは付属していません。市販のものをご用意ください。カメラのHDMI出力端子は、HDMIミニ端子（Type C）です。HDMIケーブルご購入時は、ケーブルの片方がHDMIミニ端子のものをお選びください。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルは、プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- カメラのHDMIミニ端子とUSB/オーディオビデオ出力端子に、同時にケーブルを接続しないでください。

画像がテレビに映らないときは

セットアップメニュー→［**TV出力設定**］（➡105）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

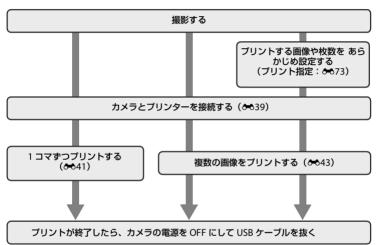
テレビのリモコンを使う（HDMI 機器制御）

HDMI-CEC規格対応テレビのリモコンで、再生中の操作ができます。
カメラのタッチパネルのかわりに、画像の選択や動画の再生/停止、かんたんパノラマで撮影した画像のスクロール再生、1コマ表示と6コマのサムネイル表示の切り換えなどができます。

- カメラの［**TV出力設定**］の［**HDMI 機器制御**］（➡105）を［**ON**］（初期設定）にし、HDMIケーブルで接続してください。
- リモコンは、テレビに向けて操作してください。
- お使いのテレビがHDMI-CEC規格に対応しているかどうかは、テレビの説明書などでご確認ください。

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

PictBridge（☼21）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

詳細編

電源についてのご注意

- プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売のACアダプター EH-62Gを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX S6400へ電源を供給できます。EH-62G以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

カメラとプリンターを接続する

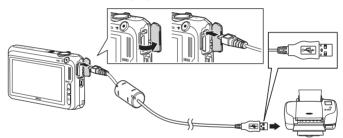
1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認します。

3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

詳細編

4 カメラの電源が自動的にONになる

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに［**PictBridge**］画面が表示された後、［**プリント画像選択**］画面が表示されます。

PictBridge画面が表示されないときは

カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外してください。カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（E106）を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、再生メニューの［**プリント指定**］を使って、あらかじめSDカードに設定できます（E73）。

詳細編

1コマずつプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから(⚯39)、以下の手順でプリントしてください。

1 ▲ または ▼ をタッチしてプリントする画像を選び、OKをタッチする

- ズームレバーを**W**(▦)方向に回すと12コマ表示に切り換わり、画像を選びやすくなります。**T**(Q)方向に回すと1コマ表示に切り換わります。

2 [プリント枚数設定]をタッチする

3 プリントしたい枚数(9 枚まで)をタッチする

4 ［用紙設定］をタッチする

5 印刷したい用紙サイズをタッチする

- ▲ または ▼ をタッチすると、前後のページを表示します。
- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

6 ［プリント実行］をタッチする

7 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。

プリント中の枚数/総枚数

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから(⚫⚫39)、以下の手順でプリントしてください。

1 ［プリント画像選択］画面が表示されたら、MENUをタッチする

2 ［用紙設定］をタッチする

- プリントメニューを終了したいときは、⮌ をタッチします。

3 印刷したい用紙サイズをタッチする

- ▲ または ▼ をタッチすると、前後のページを表示します。
- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

4 ［プリント選択］、［全画像プリント］または［DPOFプリント］をタッチする

プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

- プリントしたい画像をタッチして選び、画面左下の ▲ または ▼ をタッチしてプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。
- RESET をタッチすると、すべての画像の選択を解除します。
- 設定が終了したら OK をタッチします。
- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］をタッチすると画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］をタッチするとプリントメニューに戻ります。

詳細編

全画像プリント

SD カードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、[**プリント実行**］をタッチすると画像のプリントが始まります。[**キャンセル**］をタッチするとプリントメニューに戻ります。

DPOFプリント

[**プリント指定**］（E73）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、[**プリント実行**］をタッチすると画像のプリントが始まります。⮌ をタッチするとプリントメニューに戻ります。

- [**画像の確認**］をタッチすると、どの画像をプリント指定したか確認できます。OK をタッチすると画像のプリントが始まります。

5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。

詳細編

用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**L サイズ**］、［**2L サイズ**］、［**はがき**］、［**100×150 mm**］、［**4×6 in.**］、［**8×10 in.**］、［**Letter**］、［**A3 サイズ**］、［**A4 サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

動画の編集

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する（□100）

2 ✂をタッチする

- 動画編集画面が表示されます。

3 ✂（始点の設定）をタッチする

- 編集開始時は、一時停止したときのフレームが始点になっています。
- ◀ または ▶ をタッチして、始点を必要な部分の開始位置まで移動します。
- 編集を中止するには、↩をタッチします。

4 ✂（終点の設定）をタッチする

- ◀ または ▶ をタッチして、右端にある終点を必要な部分の終了位置まで移動します。

5 設定が完了したら、🆗をタッチする

- 🆗をタッチする前に▶（プレビュー）をタッチすると、指定した範囲の動画を再生して確認できます。
- プレビュー再生中は、操作パネルのアイコンをタッチして、以下の操作ができます。

- 🔊：音量調整
- ◀◀/▶▶：早送り/巻き戻し
- ⏸/■：一時停止/再生終了

6 ［はい］をタッチする

- 編集した動画が保存されます。

動画編集についてのご注意

- 編集中に電源が切れないよう、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。バッテリー残量表示が▭のときは、動画編集の操作はできません。
- 編集で作成した動画から、もう一度動画を切り出すことはできません。ほかの範囲を切り出すときは、元の動画を選んで編集してください。
- 秒単位で動画を切り出すため、設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。
- 内蔵メモリー/SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→🔗117

画像モード（画像サイズ/画質）

撮影画面にする → MENUをタッチする → 画像モード

記録時の画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選べます。画像の用途や内蔵メモリー /SDカードの残量に合わせて設定してください。

画像モード※	内容
4608×3456★	よりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
4608×3456	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適しています。圧縮率は約1/8です。
3264×2448	
2272×1704	
1600×1200	、、よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
640×480	電子メールへの添付や画面のアスペクト比（横：縦）が4：3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
4608×2592 （初期設定）	アスペクト比が16：9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

※ 記録データの総画素数と長辺×短辺の画素数を表しています。
例：4608 × 3456：約 16 メガピクセル＝ 4608 × 3456 ピクセル

画像モードの設定について

- 設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。
- シーンモード（□40）の［**手書きメモ**］、［**かんたんパノラマ**］または［**3D撮影**］時は、画像モードを選べません。

記録可能コマ数

4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。
内蔵メモリー（約78MB）使用時の記録可能コマ数の目安は、撮影時の画面でご確認ください。

画像モード	SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
16M★ 4608×3456★	約380コマ	約39×29 cm
16M 4608×3456	約760コマ	約39×29 cm
8M 3264×2448	約1520コマ	約28×21 cm
4M 2272×1704	約3130コマ	約19×14 cm
2M 1600×1200	約6330コマ	約13×10 cm
VGA 640×480	約22400コマ	約5×4 cm
16:9 12M 4608×2592	約1010コマ	約39×22 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。
※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cmで計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

タッチ撮影

以下の項目を選べます。

項目	内容	
タッチシャッター（初期設定）	画面にタッチするだけで、シャッターがきれます。	53
ターゲット追尾※	動きのある被写体を撮影するときに使います。 ピントを合わせたい被写体を登録すると、ターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。	55
タッチAF/AE	オートフォーカスでピント合わせをするAFエリアを、画面にタッチして選べます。シャッターボタンを押すと、選んだエリアでピントと露出が合いシャッターがきれます。	57

※ （オート撮影）モードのみ

タッチシャッターまたはタッチAF/AEで設定できるAFエリアについて

［**タッチシャッター**］または［**タッチAF/AE**］で、画面をタッチして設定できるAFエリアは、撮影モードによって以下のように異なります。

<table>
<tr><th>撮影モード</th><th>設定できるAFエリア</th></tr>
<tr><td>（オート撮影）モード（□38）</td><td rowspan="3">タッチした被写体に、AFエリアを変更できます。※1</td></tr>
<tr><td>シーンモード（□40）の［おまかせシーン］、［スポーツ］/［パーティ］/［ビーチ］/［雪］/［クローズアップ］/［料理］/［ミュージアム］/［モノクロコピー］/［逆光］/［3D撮影］</td></tr>
<tr><td>スペシャルエフェクトモード（□52）</td></tr>
<tr><td>シーンモード（□40）の［ポートレート］/［夜景ポートレート］</td><td>顔認識（□75）して表示される枠のみタッチできます。※1</td></tr>
<tr><td>シーンモード（□40）の［風景］/［夕焼け］/［トワイライト］/［夜景］/［打ち上げ花火］/［かんたんパノラマ］</td><td>・［タッチシャッター］でシャッターがきれますが、AF エリアは変更できません。→「シーンモードの種類と特徴」（□42）
・［タッチ AF/AE］は使えません。</td></tr>
<tr><td>シーンモード（□40）の［ペット］（ペット自動シャッターを［OFF］に設定時※2）</td><td>ペット検出（□49）または顔認識して表示される枠のみタッチできます。※1</td></tr>
<tr><td>ベストフェイスモード（□54）（笑顔自動シャッターを［OFF］に設定時※2）</td><td>・顔認識時：顔認識（□75）して表示される枠のみタッチできます。※1
・顔認識していないとき：タッチした被写体に、AF エリアを変更できます。</td></tr>
</table>

※1 複数の顔を認識しているときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAF エリアを変更できます。

※2［**ON**］に設定時は、［**タッチシャッター**］、［**タッチAF/AE**］は使えません。

画面にタッチしてシャッターをきる（タッチシャッター）

撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ /●/AF タッチ撮影 ➔
タッチシャッター

ピントを合わせたい被写体をタッチして撮影する

- 液晶モニターにタッチするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがありますのでご注意ください。
- 電子ズーム使用時は、画面中央の被写体にピントが合います。
- タッチシャッターに設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- 液晶モニターにタッチして［ ］が表示されたときは、シャッターがきれません。［ ］の内側をタッチしてください。

詳細編

タッチシャッターについてのご注意

- 撮影モードによって、設定できるAFエリアが異なります（➡52）。
- ［**連写**］（➡59）の［**連写H**］、［**連写L**］、［**先取り撮影**］、［**高速連写120fps**］、［**高速連写60fps**］、または［**BSS**］を使って撮影するときや、シーンモード（📖40）の［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］または［**ペット**］（［**連写**］に設定時）で撮影するときは、シャッターボタンを押して撮影してください。タッチシャッターを使うと1コマずつの撮影になります。
- 誤って画面に触れてシャッターをきらないようにご注意ください。タッチ撮影の設定を［**タッチAF/AE**］（➡57）に切り換えると、画面にタッチしてもシャッターがきれないようにできます（一部の撮影モードを除く）。
- オートフォーカスが苦手な被写体を撮影すると、ピントが合わないことがあります（📖77）。
- セルフタイマー（📖61）を設定してから、画面の被写体をタッチすると、ピントが固定され、10秒または2秒後にシャッターがきれます。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（📖71）。

動く被写体にピントを合わせて撮影する（ターゲット追尾）

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ タッチ撮影 ➔ ターゲット追尾

- 撮影モードが、（オート撮影）モード以外のときは、（ターゲット追尾）を使えません。

---

1 被写体を登録する

- ピントを合わせたい被写体に画面上でタッチします。
  - 被写体が登録されます。
  - 枠が赤色で表示されたときは、被写体にピントを合わせられません。構図を変えて、もう一度被写体を登録してください。
- 被写体が登録できない場所をタッチしたときは、液晶モニターに〔 〕が表示されます。〔 〕の内側をタッチしてください。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- ターゲットを変えたいときは、もう一度ピントを合わせたい被写体をタッチしてください。
- 被写体の登録を解除するときは、画面右側のをタッチします。
- カメラがターゲットを見失ってAF エリア表示が消えたときは、もう一度被写体を登録してください。

詳細編

2 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押ししてAF エリアでピントが合うと、AFエリア表示が緑色になり、ピントが固定されます。
- AFエリア表示が点滅したときは、被写体にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- AFエリアが表示されていない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

ターゲット追尾についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- ターゲット追尾中は、常にピントを合わせる動作音がします。
- ズーム位置や撮影時の設定（□38）は、被写体を登録する前に設定してください。被写体を登録した後に設定を変更すると、被写体の登録が解除されます。
- 被写体の動きが速いときや手ブレが大きいとき、類似した被写体がある場合など、撮影条件によっては、被写体をターゲットに登録できないことや追尾できないこと、または別の被写体を追尾することがあります。被写体の大きさや明るさなどによっても、適切にターゲット追尾できないことがあります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□77）の撮影では、AFエリア表示が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、等距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（□78）をお試しください。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。

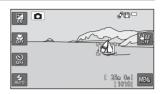
タッチ撮影の設定について

ターゲット追尾での被写体の登録は、電源をOFFにすると解除されます。

画面にタッチしてピントを合わせる（タッチAF/AE）

撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ タッチ撮影 ➔ タッチAF/AE

1 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所には、〚 〛または二重枠のAFエリアが表示されます。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは選べません。
- AFエリアの選択を解除するときは、画面右側のをタッチします。
- AFエリアに選べない場所をタッチしたときは、液晶モニターに〔 〕が表示されます。〔 〕の内側をタッチしてください。

2 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しするとピントと露出が固定され、全押しするとシャッターがきれます。

詳細編

タッチAF/AEについてのご注意

- 撮影モードによって、設定できるAFエリアが異なります（E52）。
- オートフォーカスが苦手な被写体の撮影では、ピント合わせができないことがあります（77）。

ISO ISO感度設定

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ ISO ISO感度設定

ISO感度を高くすると、より少ない光量で撮影できます。
ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、暗い被写体の撮影、フラッシュを使わない撮影、望遠側での撮影などに効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
オート（初期設定）	明るい場所ではISO 125になり、暗い場所では自動的にISO 1600までISO感度が高くなります。
感度制限オート	カメラが自動的にISO感度を変更するときの範囲を［**ISO 125-400**］、［**ISO 125-800**］から選べます。選んだ範囲の上限値以上にISO感度は上がりません。ISO感度の上限値を設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。
125、200、400、800、1600、3200	ISO感度を選んだ値に固定します。

詳細編

 ISO感度設定についてのご注意

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。

連写

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ 連写

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。

項目	内容
単写（初期設定）	1コマずつ撮影します。
連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、約10コマ/秒で連写できます（画像モードが［**4608 × 2592**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすか、7コマ連写すると、撮影を終了します。
連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、最大約2コマ/秒で約19コマ連写できます（画像モードが［**4608 × 2592**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすと、撮影を終了します。
先取り撮影	先取り撮影を使うと、シャッターボタンを全押しする直前の画像も記録し、シャッターチャンスを逃しにくくなります。 シャッターボタンの半押しで先取りを開始し、そのまま全押しを続けると連写します（61）。 ・ 連写速度：最大 18 コマ / 秒 ・ 連続撮影コマ数： 最大 5 コマ（先取り撮影の最大 2 コマを含む） シャッターボタンから指をはなすか、最大コマ数連写すると、撮影を終了します。
120fps 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、約1/120秒以上の高速シャッタースピードで50コマ連写します。 記録される画像モードは（画像サイズ：640×480ピクセル）に固定されます。
60fps 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、約1/60秒以上の高速シャッタースピードで25コマ連写します。 記録される画像モードは（画像サイズ：1280×960ピクセル）に固定されます。

項目	内容
BSS BSS （ベストショット セレクター）	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。 シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。
マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 • 記録される画像モードは 5M（画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル）に固定されます。 • 電子ズームは使えません。

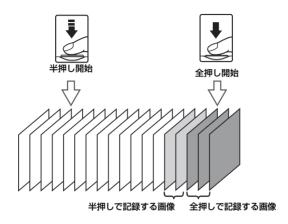
連写についてのご注意

- ［**単写**］以外にして撮影するときは、フラッシュは使えません。ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかります。記録が終了するまでの時間は、撮影コマ数、画像モード、SDカードへの書き込み速度などによって異なります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画像モード、SDカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- ［**連写**］の設定を［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**マルチ連写**］にすると、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いにばらつきが発生することがあります。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（71）。

BSSについてのご注意

［**BSS**］は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

先取り撮影について

［**先取り撮影**］を設定しているときに、シャッターボタンを0.5秒以上半押しすると撮影を開始し、全押しする直前の画像も連続撮影コマ数の一部として記録できます。先取り撮影できるコマ数は、2コマまでです。

- 記録可能コマ数が5コマ未満のときは、先取り撮影できません。撮影前に記録可能コマ数が5コマ以上残っていることをご確認ください。

連写で撮影した画像について

- ［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］で撮影した画像は、撮影ごとに「**連写グループ**」として保存されます（E14）。

関連ページ

- オートフォーカスが苦手な被写体→77
- 連写した画像（連写グループ）の再生と削除→E14

WB ホワイトバランス（色合いの調整）

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔
WB ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
PRE プリセットマニュアル	特殊な照明の下などでの撮影に適しています（➡63）。
晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

項目をタッチして選んだら、OKをタッチしてください。

詳細編

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、［**オート**］や［**電球**］などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。
以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 MENUをタッチして、WBをタッチする

3 PREをタッチして、OKをタッチする

- レンズが測定用のズーム位置になります。

詳細編

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

- 前回測定したホワイトバランス値を使いたいときは、［**前回の設定**］をタッチします。再測定せずに、ホワイトバランスが前回の値に設定されます。

5 ［新規設定］をタッチして、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます（画像は記録されません）。
- 手順3の画面に戻るので、✖をタッチして設定を終了します。

ホワイトバランスについてのご注意

- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。
- ［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを⊛（発光禁止）に設定してください（□58）。

プリセットマニュアルについてのご注意

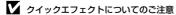
フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、［**ホワイトバランス**］を［**オート**］または［**フラッシュ**］に設定してください。

クイックエフェクト

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ クイックエフェクト

クイックエフェクト機能のON/OFFを設定します。

項目	内容
ON（初期設定）	シャッターをきった直後に、右の画面を表示します。 ・［**OK**］をタッチすると、効果を選ぶ画面が表示され、クイックエフェクトが使えます（□39）。 ・［**キャンセル**］をタッチするか、無操作で約 5 秒経過すると撮影画面に戻ります。
OFF	クイックエフェクト機能（撮影モード時）をOFFにします。

クイックエフェクトについてのご注意

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。

[+] AFエリア選択

(オート撮影) モードの撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ [+] AFエリア選択

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容
[■] 中央（初期設定）	画面中央の被写体にピントが合います。 AFエリアが画面中央に常に表示されます。 AF エリア
[■] ターゲットファインドAF	カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。→「ターゲットファインド AF について」(□74) AF エリア

AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[**AFエリア選択**]の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」(□77)の撮影では、ピントが合わないことがあります。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□71）。

- [**画像モード**]、/ [**タッチ撮影**] については、「撮影メニュー（（オート撮影）モード）」（49）をご覧ください。

美肌効果

撮影画面にする ➔ （撮影モード）ボタン ➔ ベストフェイスモード ➔ MENUをタッチする ➔ 美肌効果

美肌の効果を設定します。

項目	内容
強め	シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。
標準（初期設定）	
弱め	
OFF	美肌機能をOFFにします。

撮影画面の被写体では、効果の度合いは確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

詳細編

目つぶり軽減

撮影画面にする ➔ （撮影モード）ボタン ➔ ベストフェイスモード ➔ MENUをタッチする ➔ 目つぶり軽減

撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

項目	内容
ON ON	目つぶり軽減を設定します。 ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。 目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。 目つぶり検出した画像を記録しました
OFF OFF（初期設定）	目つぶり軽減機能をOFFにします。

笑顔自動シャッター

撮影画面にする ➔ （撮影モード）ボタン ➔ ベストフェイスモード ➔ MENUをタッチする ➔ 笑顔自動シャッター

カメラが顔認識した人物の笑顔を検出するたびにシャッターをきります。

項目	内容
ON ON（初期設定）	笑顔自動シャッターを設定します。
OFF OFF	笑顔自動シャッターをOFFにします。

- 🅰［**お気に入り登録**］、🅰［**お気に入り解除**］については、「お気に入り再生モード」（⚯7）をご覧ください。
- 🗑［**削除**］については、「ステップ6　画像を削除する」（📖34）をご覧ください。
- ✎［**ペイント**］および☑［**画像編集**］については、「画像の編集（静止画）」（⚯17）をご覧ください。

スライドショー

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUをタッチする ➔ スライドショー

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 ［開始］をタッチする

- ［**開始**］をタッチする前に［**効果**］をタッチすると、スライドショー中の効果を選べます。
- 画像の表示時間を変更するには、［**開始**］を選ぶ前に［**インターバル設定**］をタッチし、画像の表示時間を選びます。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］をタッチする前に［**エンドレス**］をタッチします。

2 スライドショーが始まる

- 液晶モニターをタッチすると、画面下に操作パネルが表示されます。
- 最終コマの再生終了後は、一時停止したときと同じ画面になります。

操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀◀	タッチしている間、巻き戻しします。
早送り	▶▶	タッチしている間、早送りします。
一時停止	❚❚	タッチすると、一時停止します。 ・再生を再開するには、画面中央に表示される ▶ をタッチします。
再生終了	■	タッチすると、スライドショーを終了します。

スライドショーについてのご注意

- 動画は1フレーム目だけを表示します。
- 連写グループ（E14）の表示方法が［**代表画像のみ**］の場合は、代表画像だけを表示します。
- かんたんパノラマ（□48、E3）で撮影した画像は、スライドショーでは1コマ表示になります。スクロール再生はできません。
- カメラをHDMI接続して、3D画像を3D（立体）で再生（□51）しているときは、効果を選べません。［**クラシック**］になります。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大約30分です（E102）。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像を保護できます。
ただし、内蔵メモリー /SDカードを初期化（フォーマット）（103）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。
プロテクト設定した画像は、再生画面で（8）が表示されます。

1コマだけ保護（プロテクト）する

ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ プロテクト設定

ON［ON］をタッチする

- 画像がプロテクトされます。
- 画像をドラッグすると、表示した画像を続けてプロテクト設定できます。
- 再生メニューに戻るには、をタッチします。

詳細編

複数の画像を保護（プロテクト）する

▶ボタンを押す（再生モード）➔ サムネイル表示にする（□81）➔ MENUをタッチする ➔ O‐nプロテクト設定

1 プロテクトしたい画像をタッチする

- 選択した画像にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（■）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。

2 OKをタッチする

- 画像がプロテクトされます。

プロテクト設定を解除する

- 1コマずつプロテクト設定を解除するには、プロテクト設定された画像を1コマ表示して「1コマだけ保護（プロテクト）する」（⊶71）の操作をし、「1コマだけ保護（プロテクト）する」の画面で［**OFF**］をタッチします。
- 複数画像のプロテクト設定を解除するには、「複数の画像を保護（プロテクト）する」の手順1の画面で、プロテクト設定された画像のチェックマークを外します。

凸 プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

SDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。

- カードスロットが付いたDPOF対応（⚲21）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- カメラをPictBridge対応（⚲21）のプリンターに接続してプリントする（⚯38）（カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます）。
- プリント指定を行った画像は、再生画面で凸（□8）が表示されます。

1コマだけプリント指定する

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ 凸プリント指定

1 プリントする枚数（9 枚まで）をタッチし、OKをタッチする

- OKをタッチする前に画像をドラッグすると、プリント指定する画像を変更できます。

- 今回のプリント指定を追加することで設定コマ数が99コマを超える場合は、右の画面が表示されます。
  - ［**はい**］を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。
  - ［**キャンセル**］を選ぶと、他の画像のプリント指定を残して、今回の設定を取り消します。

詳細編

2 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- DATE［日付］をタッチしてチェックボックスをオン［✔］にすると、撮影日を印字します。
- INFO［撮影情報］をタッチしてチェックボックスをオン［✔］にすると、撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- OKをタッチして、設定を有効にします。

複数の画像をプリント指定する

▶ボタンを押す（再生モード）➔ サムネイル表示にする（□81）➔ MENUをタッチする ➔ プリント指定

1 プリントしたい画像（最大99コマまで）をタッチして選び、画面左下の▲または▼をタッチしてプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- RESETをタッチすると、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。
- 設定が終了したらOKをタッチします。

詳細編

2 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- DATE［**日付**］をタッチしてチェックボックスをオン［✔］にすると、すべての画像に撮影日を印字します。
- INFO［**撮影情報**］をタッチしてチェックボックスをオン［✔］にすると、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- OKをタッチして、設定を有効にします。

プリント指定を解除する

- 1コマずつプリント指定を解除するには、プリント指定された画像を1コマ表示して「1コマだけプリント指定する」（E73）の操作をし、手順1の画面で「0」をタッチします。
- 複数画像のプリント指定を解除するには、「複数の画像をプリント指定する」（E74）の手順1の画面で、プリント指定された画像のチェックマークを外します。RESETをタッチすると、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（21）で印字できます。

- 付属の USB ケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOF プリント」（45）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］を表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**地域と日時**］で［**日時の設定**］や［**タイムゾーン**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

［プリント指定］についてのご注意

シーンモードの［**3D撮影**］で撮影した画像は、プリント指定できません。

［デート写し込み］について

セットアップメニューの［**デート写し込み**］（95）を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

デート写し込みした画像は、［**プリント指定**］で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

詳細編

画像回転

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ 画像編集 ➔ 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。
静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

・ またはをタッチすると、画像が90度回転します。

反時計方向に90度回転

時計方向に90度回転

・ OKをタッチすると、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

詳細編

画像回転についてのご注意

・ COOLPIX S6400以外で撮影した画像、および［**3D撮影**］（50）で撮影した画像は回転できません。
・ 連写グループの画像を代表画像のみの表示にしているときは、画像回転はできません。1コマずつ展開して表示してから設定してください（14）。

音声メモ

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUをタッチする ➔ 音声メモ

撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

- 音声メモが付いていない画像では録音画面になり、音声メモが付いた画像（1コマ表示で♪が表示されている画像）では音声メモの再生画面になります。

音声メモを録音する

- ●をタッチすると、約20秒まで音声メモを録音できます。
- 録音中はカメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中はRECが点滅します。

- 録音中に■をタッチすると、録音が停止します。
- 録音が終了すると、音声メモ再生画面になります。
- 再生メニューに戻るには、↩をタッチします。

詳細編

音声メモを再生する

- ▶をタッチすると、音声メモを再生します。
- 再生を途中で止めるには、■をタッチします。
- 再生中は、🔊をタッチして音量を調節できます。
- 再生中は♪が点滅します。
- 再生メニューに戻るには、↩をタッチします。

音声メモを削除する

「音声メモを再生する」の画面で🗑をタッチします。
［**はい**］をタッチすると、音声メモだけを削除します。

✔ 音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- ［**プロテクト設定**］（⚭71）された画像の音声メモは削除できません。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S6400以外で撮影した画像には、COOLPIX S6400で音声メモを付けられません。
- 連写グループの画像を代表画像のみの表示にしているときは、音声メモを付けられません。1コマずつ展開して表示してから設定してください（⚭14）。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→⚭117

画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUをタッチする ➔ 画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 コピーする方向をタッチする

- ➔［**カメラ→カード**］：
  内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
- ➔［**カード→カメラ**］：
  SDカードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法をタッチする

- ［**選択画像コピー**］：
  画像を選んでコピーします。→手順3へ
- ALL［**全画像コピー**］：
  すべての画像をコピーします。確認画面が表示されたら、［**はい**］をタッチしてください。画像がコピーされます。［**いいえ**］をタッチすると、コピーせずに再生メニューに戻ります。

詳細編

3 コピーしたい画像をタッチする

- 選択した画像にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▣）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。

4 OKをタッチする

- 確認画面が表示されたら、[**はい**］をタッチしてください。画像がコピーされます。[**いいえ**］をタッチすると、コピーせずに再生メニューに戻ります。

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、MOV、WAV、MPO です。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 画像コピーでは、画像に付けた「音声メモ」（E78）も画像と同時にコピーします。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（E73）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（E71）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。
- 内蔵メモリーまたはSDカードからコピーした画像や動画は、オート分類再生モード（E11）では表示できません。
- お気に入り登録（E7）した画像をコピーしても、お気に入り登録の登録内容はコピーされません。

連写グループの画像コピーについて

- 代表画像のみの表示中（E14）に［**選択画像コピー**］で代表画像を選ぶと、同じ連写グループの画像をすべてコピーします。
- ▣をタッチして1コマずつ展開して表示してからMENUをタッチし、［**表示グループコピー**］を選んだときは、展開したグループ内のすべての画像をコピーします。
- ▣をタッチして1コマずつ展開して表示しているときは、［**カード→カメラ**］（SDカードから内蔵メモリー）方向のみ画像コピーできます。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENUをタッチして［**画像コピー**］をタッチすると画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→E117

連写の代表画像選択

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 連写グループの画像を選ぶ ➔ ▣をタッチする ➔ MENUをタッチする ➔ 連写の代表画像選択

セットアップメニューの［**連写グループ表示方法**］（E110）を［**代表画像のみ**］にしたときに、再生モードの1コマ表示（□32）やサムネイル表示（□81）で表示する代表画像を、連写グループごとに変更します。

- 代表画像の選択画面が表示されたら画像をタッチして選び、OKをタッチします。
- ［**連写グループ表示方法**］を［**1枚ずつ**］に設定時は、代表画像を変更できません。

動画設定

撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ 動画設定

撮影する動画の種類を選びます。画像サイズが大きく、ビットレートが大きいほど高画質になり、ファイルサイズは大きくなります。

- ビットレートとは、1秒間あたりの動画のデータ量です。撮影する被写体により、ビットレートが自動的に変わる「VBR記録方式」を採用しています。動きの多い被写体を記録した場合は、ファイルサイズが大きくなります。
- 記録可能時間→98
- 通常速度の動画を撮影するときは「通常速度の動画」（83）の一覧から、HS（ハイスピード）動画を撮影するときは「HS動画」（84）の一覧から選びます。

通常速度の動画

種類	ビットレート	内容
1080p HD 1080p★（1920×1080）（初期設定）	約18 Mbps	アスペクト比（横：縦）16：9の動画を記録します。ワイドテレビで再生するのに適しています。
1080p HD 1080p（1920×1080）	約12.3 Mbps	アスペクト比16：9の動画を記録します。ワイドテレビで再生するのに適しています。
720p HD 720p（1280×720）	約9 Mbps	アスペクト比16：9の動画を記録します。

- 撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。

HS動画

種類	ビットレート	内容
720p60 HS 60 fps (1280×720)	約6 Mbps	アスペクト比（横：縦）16：9で1/2の速度のスローモーション動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：30 秒（再生時間：1 分）
1080p15 HS 15 fps (1920×1080)	約12 Mbps	アスペクト比16：9で2倍の速度の早送り動画を撮影します。 • 最長撮影時間※：2 分（再生時間：1 分）

※ 最長撮影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

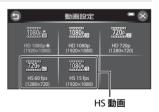
スローモーション、早送り動画の撮影（HS動画）

撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ 動画設定

HS（ハイスピード）動画を撮影できます。HS動画で撮影した動画は、通常再生の1/2の速度のスローモーションや2倍の早送りで再生されます。

1 HS動画をタッチして選ぶ

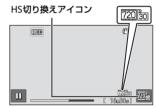
- 設定したら❎をタッチして、撮影画面に戻ります。

詳細編

2 ●（▸🎥動画撮影）ボタンを押して、撮影を開始する

HS 動画で撮影中

- 動画メニューの［**HS動画で記録開始**］が［**ON**］の場合、HS動画の撮影が始まります。

通常速度の動画で撮影中

- 動画メニューの［**HS動画で記録開始**］が［**OFF**］の場合、通常速度の動画撮影が始まります。スローモーションまたは早送りにしたい場面で「HS切り換えアイコン」をタッチして、HS動画に切り換えます。
- HS動画の最長撮影時間（⊶84）が経過するか、「HS切り換えアイコン」をタッチすると通常速度の動画撮影に切り換わります。「HS切り換えアイコン」をタッチするたびに、通常速度とHS動画の切り換えができます。
- 記録可能時間の表示は、HS動画の速度のときは、HS動画の最長撮影時間に切り換わります。
- 動画設定アイコンの表示は、HS動画の速度のときと、通常速度のときで切り換わります。

3 ●（▸🎥動画撮影）ボタンを押して、撮影を終了する

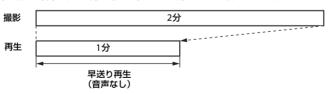
HS動画についてのご注意

- 音声は記録されません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときに固定されます。

HS動画について

撮影した動画は、約30フレーム/秒で再生されます。
動画メニュー［**動画設定**］（83）を［**HS 60 fps（1280×720）**］に設定すると、スローモーション再生が可能な動画を撮影できます。［**HS 15 fps（1920×1080）**］に設定すると、2倍の早送り再生が可能な動画を撮影できます。

［HS 60 fps（1280×720）］の速度で撮影した部分：
撮影時に最長30秒間をハイスピードで記録し、2倍の時間をかけてスローモーションで再生されます。

［HS 15 fps（1920×1080）］の速度で撮影した部分：
撮影時に最長2分間を早送り再生用に記録します。再生すると2倍の速さの早送りになります。

HS動画で記録開始

撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ HS動画で記録開始

撮影開始からスローモーションまたは早送りの動画で撮影するかどうかを選びます。

設定	内容
ON ON（初期設定）	HS動画で撮影を開始します。
OFF OFF	通常速度の動画で撮影を開始します。スローモーションまたは早送りにしたい場面で「HS切り換えアイコン」（E85）をタッチして、HS動画に切り換えます。

詳細編

動画AFモード

撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ 動画AFモード

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

設定	内容
AF-S シングルAF（初期設定）	●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。

- ［**動画設定**］をHS動画に設定したときは、［**シングルAF**］に固定されます。

風切り音低減

撮影画面にする ➔ MENUをタッチする ➔ 風切り音低減

動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

設定	内容
ON ON	マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。強風時の撮影に適しています。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
OFF OFF（初期設定）	風切り音を低減しません。

- ［**動画設定**］をHS動画に設定したときは、［**OFF**］に固定されます。

オープニング画面

MENUをタッチする ➔ 🔧（セットアップメニュー）➔ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに表示されるオープニング画面の設定をします。

項目	内容
なし（初期設定）	オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。
COOLPIX	オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。
撮影した画像	撮影した画像をオープニング画面として表示します。画像の選択画面が表示されたら画像をタッチして選び、OKをタッチして登録します。 ・画像の選択画面で、ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（⊞）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。 ・登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。 ・［**かんたんパノラマ**］または［**3D 撮影**］で撮影した画像、およびスモールピクチャー（⚭31）で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像は登録できません。

画像の選択

OK

詳細編

地域と日時

MENUをタッチする ➔ ¥（セットアップメニュー）➔ 地域と日時

カメラに内蔵された時計を設定します。

項目	内容
日時の設定	内蔵時計の日付と時刻を設定します。 表示される設定画面で、項目（年、月、日、時、分）をタッチして設定します。 ・ 項目を選ぶ：変更したい項目をタッチする。 ・ 項目の内容を合わせる：▲▼をタッチする。 ・ 設定を完了する：OK をタッチする。 日時の設定 年月日 2012 01 01 00 : 00 OK
日付の表示順	日付の表示順を［**年/月/日**］、［**月/日/年**］、［**日/月/年**］から選べます。
タイムゾーン	自宅（🏠）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（🏠）との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 ［タイムゾーン］をタッチする

2 ✈［訪問先］をタッチする

- 訪問先の時計に切り換わります。

3 🌐をタッチする

- 地域の設定画面が表示されます。

詳細編

4 ◀ または ▶ をタッチして訪問先の地域（タイムゾーン）を選び、OKをタッチする

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、をタッチして夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部にマークが表示され、時計が1時間進みます。オフにするには、もう一度をタッチします。
- 選択できない時差は、正しい時刻を［**日時の設定**］で合わせてください。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面にマークが表示されます。

（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で［**自宅**］をタッチしてください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で［**自宅**］をタッチして、［**訪問先**］と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

日付を画像に写し込むには

日時を設定した後に、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（95）で設定します。［**デート写し込み**］を設定して撮影すると、撮影日時を画像に写し込んで記録できます。

モニター設定

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ モニター設定

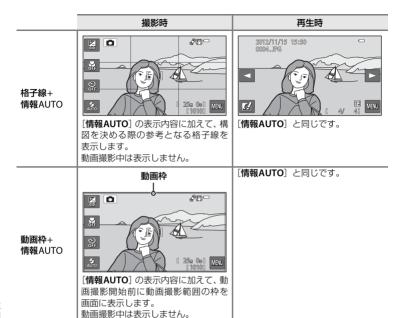
以下の項目を設定します。

項目	内容
モニター表示設定	撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。初期設定は［**ON**］です。
画面の明るさ	画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は［**3**］です。

［モニター表示設定］について

画面に情報を表示するかどうかを設定します。

	撮影時	再生時
情報ON	0.0 OFF OFF AUTO [25m 0s] [1010] MENU	2012/11/15 15:30 0004.JPG 16:9 12M [4/ 4] MENU
情報AUTO **（初期設定）**	操作しない状態が数秒経過すると、一部の操作アイコンや情報の表示がOFF になります。 撮影画面では、DISPをタッチすると再表示します。再生画面では、液晶モニターをタッチすると再表示します。	

	撮影時	再生時
格子線+情報AUTO	[**情報AUTO**] の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。 動画撮影中は表示しません。	[**情報AUTO**] と同じです。
動画枠+情報AUTO	**動画枠** [**情報AUTO**] の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。 動画撮影中は表示しません。	[**情報AUTO**] と同じです。

モニター設定についてのご注意

[**クイックエフェクト**]（⚯65）が [**ON**] のときは、[**撮影後の画像表示**] は [**ON**] に固定されます。

デート写し込み（日付の写し込み）

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（E76）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

項目	内容
DATE **年・月・日**	画像に日付を写し込みます。
DATE **年・月・日・時刻**	画像に日付と時刻を写し込みます。
OFF OFF（**初期設定**）	日付、時刻のどちらも写し込みません。

設定は撮影時の画面で確認できます（6）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付を写し込めません。
  - シーンモードの［**夜景ポートレート**］（［**手持ち撮影**］時）、［**夜景**］（［**手持ち撮影**］時）、［**逆光**］（［**HDR**］ON時）、［**かんたんパノラマ**］または［**3D 撮影**］のとき
  - 連写の設定（69）が［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］または［**高速連写 60 fps**］のとき
  - 動画のとき
- ［**画像モード**］（E49）がVGA［**640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは2M［**1600×1200**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**地域と日時**］（20、E90）での設定と同じになります。

詳細編

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（E73）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

手ブレ補正

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ 手ブレ補正

撮影するときの手ブレ補正を設定します。望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを補正します。静止画撮影だけでなく、動画撮影時の手ブレも補正します。
三脚などでカメラを固定して撮影するときは、手ブレ補正を［**OFF**］にしてください。

項目	内容
ON（初期設定）	手ブレを補正します。
OFF OFF	手ブレ補正をしません。

設定は撮影時の画面で確認できます（□6）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、液晶モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- シーンモードの［**夜景**］または［**夜景ポートレート**］で、［**三脚撮影**］に設定時は手ブレ補正を行いません。

モーション検知

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ モーション検知

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

項目	内容
AUTO **（初期設定）**	カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。 ただし、以下の場合は、モーション検知は作動しません。 ・ フラッシュが発光するとき ・ ［**タッチ撮影**］（E51）を［**ターゲット追尾**］にしたとき ・ ［**ISO 感度設定**］（E58）を［**オート**］以外にしたとき ・ ［**連写**］（E59）を［**単写**］または［**BSS**］以外にしたとき ・ 以下のシーンモードのとき：［**スポーツ**］（A43）、［**夜景ポートレート**］（A43）、［**トワイライト**］（A44）、［**夜景**］（A45）、［**ミュージアム**］（A46）、［**打ち上げ花火**］（A46）、［**逆光**］（A47）、［**かんたんパノラマ**］（A48）、［**ペット**］（A49）、［**3D 撮影**］（A50）
OFF OFF	モーション検知をしません。

設定は撮影時の画面で確認できます（A6）。
カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

詳細編

モーション検知についてのご注意

- モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

AF補助光

MENUをタッチする ➔ ♈（セットアップメニュー）➔ AF補助光

暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
AUTO AUTO **（初期設定）**	暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約1.9 m、望遠側で約1.5 mです。 ただし、［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置や［**ミュージアム**］（□46）や［**ペット**］（□49）など、シーンモードによっては点灯しない場合があります。
OFF OFF	AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがあります。

電子ズーム

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ 電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

項目	内容
ON ON（初期設定）	光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、電子ズーム（□29）が作動します。
OFF OFF	電子ズームは作動しません。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。
- 以下の場合、電子ズームは使えません。
  - タッチ撮影が［**ターゲット追尾**］のとき
  - 連写の設定が［**マルチ連写**］のとき
  - シーンモードが［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**夜景**］、［**逆光**］（［**HDR**］ON時）、［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］、または［**3D 撮影**］のとき
  - ベストフェイスモードのとき

操作音

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ 操作音

操作音について設定します。

項目	内容
設定音	設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。 ただし、連写の設定を［**単写**］（E59）以外にして撮影するとき、動画撮影時は、［**ON**］に設定してもシャッター音は鳴りません。

操作音についてのご注意

シーンモードの［**ペット**］では、設定音およびシャッター音は鳴りません。

オートパワーオフ

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ オートパワーオフ

電源をONにしたまま、カメラを操作しない状態が続くと、節電のために液晶モニターが消灯して待機状態になります（□25）。
このメニューでは、待機状態になるまでの時間を設定します。
［**30 秒**］、［**1 分**］（初期設定）、［**5 分**］、［**30 分**］から選べます。

節電により液晶モニターが消灯したときは

- 待機状態では、電源ランプが点滅します。
- 待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 電源ランプの点滅中は、以下のボタンを押すと液晶モニターが再点灯します。
  →電源スイッチ、シャッターボタン、撮影ボタン、再生ボタン、または●（動画撮影）ボタン

オートパワーオフの設定について

- 以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。
  - メニュー表示中：最短3分（［**5分**］または［**30分**］に設定時は、設定した時間で待機状態になります。）
  - スライドショー再生中：最大30分
  - ACアダプター EH-62G接続中：30分
  - オーディオビデオケーブルまたはHDMIケーブル接続中：30分
- Eye-Fiカードを使用した画像の転送中は、待機状態になりません。

詳細編

メモリー /カードの初期化（フォーマット）

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔
メモリーの初期化/カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。
内蔵メモリー /SDカードを初期化すると、内蔵メモリー /SDカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータはもとに戻せません。 必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出します。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

初期化についてのご注意

- 内蔵メモリー /SDカードを初期化すると、お気に入りフォルダーのアイコン設定（E10）は初期設定（数字アイコン）に戻ります。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。

詳細編

言語/Language

MENUをタッチする ➔ 🔧（セットアップメニュー）➔ 言語/Language

画面に表示する言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

TV出力設定

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ TV出力設定

テレビとの接続に必要な設定を行います。

項目	内容
ビデオ出力	ビデオの出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。 ［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。
HDMI	HDMI出力時の解像度を［**オート**］（初期設定）、［**480p**］、［**720p**］または［**1080i**］から選べます。［**オート**］にすると、接続するテレビに対応した解像度を［**480p**］、［**720p**］または［**1080i**］から自動で選んで出力します。
HDMI **機器制御**	HDMI-CEC規格対応のテレビにHDMIケーブルで接続したときに、テレビからの信号を受信するかどうかを設定します。［**ON**］（初期設定）にすると、テレビのリモコンを使って再生中の操作ができます。→「テレビのリモコンを使う（HDMI 機器制御）」（E37）
HDMI 3D**出力**	撮影した3D画像のHDMI機器への出力方法を設定します。 3D（立体）で再生するには、［**ON**］（初期設定）にします。

HDMI、HDMI-CECとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。

パソコン接続充電

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ パソコン接続充電

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき（□86）に、カメラ内のバッテリーを充電するかどうかを設定します。

項目	内容
AUTO（初期設定）	起動済みのパソコンに接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。
OFF	パソコンに接続しても、カメラ内のバッテリーを充電しません。

パソコンに接続して充電するときのご注意

- パソコンに接続しても、ご購入後にカメラの表示言語と日時（□20）を設定していないときは、充電やデータの転送はできません。また、時計用電池（□22）が切れて日時がリセットされたまま再設定していないときも、充電やデータの転送はできません。本体充電ACアダプター EH-69Pでバッテリーを充電し（□16）、カメラの日時を設定してください。
- カメラの電源をOFFにすると、バッテリーの充電も中止されます。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源がOFFになることがあります。
- カメラとパソコンの接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約3時間15分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電だけをしたいときに、カメラをパソコンに接続して、パソコンでNikon Transfer 2などが起動した場合は、これらの画面を閉じてください。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。
- パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。

カメラとプリンターを接続するときのご注意

- カメラをPictBridge対応プリンターに接続しても、バッテリーの充電はできません。
- プリンターによっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］にするとプリントできない場合があります。プリンターに接続して電源がONになってもカメラにPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

充電ランプについて

パソコンに接続しているときのカメラの充電ランプの状態と意味は以下のとおりです。

状態	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。 電源ランプが点灯したまま、ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5℃～ 35℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。 • パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。 • パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

目つぶり検出設定

MENUをタッチする → Y（セットアップメニュー）→ 目つぶり検出設定

以下の場合に、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- （オート撮影）モードで、［**AFエリア選択**］が［**ターゲットファインドAF**］に設定され、人物の顔を主要な被写体と認識して撮影したとき（□74）
- シーンモードの［**おまかせシーン**］（□42）、［**ポートレート**］（□42）または［**夜景ポートレート**］（□43）で顔認識撮影（□75）したとき

項目	内容
ON	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。 目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。 →「目つぶり確認画面の操作方法」（E109）
OFF（初期設定）	目つぶり検出をしません。

詳細編

目つぶり検出設定についてのご注意

連写の設定が［**単写**］（E59）以外のときは、目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

［**目つぶり確認**］画面が表示されたときは、以下の操作ができます。
何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。

機能	内容
目つぶり検出した顔を拡大表示する	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。
1コマ表示に戻る	ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。
表示する顔を切り換える	複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に▣または▣をタッチすると、拡大表示する顔が切り換わります。
撮影した画像を削除する	▣をタッチします。
撮影画面に戻る	▣をタッチするか、シャッターボタンを押します。

連写グループ表示方法

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ 連写グループ表示方法

連写した一連の画像（連写グループ）（E14）を再生モードの1コマ表示（□32）またはサムネイル表示（□81）で表示する方法を設定します。
設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

項目	内容
1枚ずつ	連写した画像を、1コマずつに展開して表示します。再生画面でが表示されます（□8）。
代表画像のみ（初期設定）	連写した一連の画像（連写グループ）をまとめて、1枚の画像（代表画像）のみで表示します。

Eye-Fi送信機能

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ Eye-Fi送信機能

項目	内容
有効（初期設定）	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
無効	画像を送信しません

Eye-Fiカードを使用するときのご注意

- 電波の状態が悪い場合、［**有効**］に設定していても送信できないことがあります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、設定を［**無効**］にしてください。
- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの説明書をご覧ください。Eye-Fiカードに関する不具合や質問は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をON/OFFする機能がありますが、Eye-Fiカードの全ての機能を保証するものではありません。
- エンドレスメモリー機能には対応していません。パソコンで設定をしている場合は、OFFにしてください。エンドレスメモリー機能を設定していると、撮影した画像枚数表示が正常に表示されなくなることがあります。
- Eye-Fiカードの送信機能の使用は、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- ［**有効**］にしていると、バッテリーの消耗は通常より早くなります。

Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、画面で確認できます（□6）

- ：［**Eye-Fi送信機能**］が［**無効**］に設定されています。
- （点灯）：画像の送信を待っています。
- （点滅）：画像の送信中です。
- ：未送信の画像がありません。
- ：エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。

詳細編

設定クリアー

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（□58）	AUTO
セルフタイマー（□61）	OFF
マクロモード（□63）	OFF
露出補正（□65）	0.0

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（E49）	4608×2592
タッチ撮影（E51）	タッチシャッター
ISO感度設定（E58）	オート
連写（E59）	単写
ホワイトバランス（E62）	オート
クイックエフェクト（E65）	ON
AFエリア選択（E66）	中央

シーンモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのシーン設定（□40）	おまかせシーン
シーンエフェクト調整（□41）	中央
夜景ポートレート（□43）	手持ち撮影
夜景（□45）	手持ち撮影
逆光のHDR（□47）	OFF
かんたんパノラマ（□48）	標準（180°）
ペットモードの連写（□49）	連写
ペットモードのペット自動シャッター（□49）	ON

スペシャルエフェクトモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのスペシャルエフェクト設定（□52）	ソフト

ベストフェイスメニュー

項目	初期設定
美肌効果（⚲67）	標準
目つぶり軽減（⚲68）	OFF
笑顔自動シャッター（⚲68）	ON

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（⚲83）	HD 1080p★（1920×1080）
HS動画で記録開始（⚲87）	ON

詳細編

項目	初期設定
動画AFモード（E88）	シングルAF
風切り音低減（E88）	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
オープニング画面（E89）	なし
モニター表示設定（E93）	情報AUTO
撮影後の画像表示（E93）	ON
画面の明るさ（E93）	3
デート写し込み（E95）	OFF
手ブレ補正（E97）	ON
モーション検知（E98）	AUTO
AF補助光（E99）	AUTO
電子ズーム（E100）	ON
設定音（E101）	ON
シャッター音（E101）	ON
オートパワーオフ（E102）	1 分
HDMI（E105）	オート
HDMI 機器制御（E105）	ON
HDMI 3D出力（E105）	ON
パソコン接続充電（E106）	AUTO
目つぶり検出設定（E108）	OFF
連写グループ表示方法（E110）	代表画像のみ
Eye-Fi送信機能（E111）	有効

その他

項目	初期設定
用紙設定（E42、E43）	プリンターの設定
スライドショーの効果（E69）	クラシック
スライドショーのインターバル設定（E69）	3 秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（E117）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル番号の連番を「0001」に戻したいときは、内蔵メモリー /SDカード内の画像をすべて削除（A34）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、[**設定クリアー**]を行っても初期設定には戻りません。

  撮影メニュー：
  ［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（E63）

  再生メニュー：
  ［**連写の代表画像選択**］（E82）

  セットアップメニュー：
  ［**地域と日時**］（E90）、［**言語/Language**］（E104）、［**TV出力設定**］の［**ビデオ出力**］（E105）

  その他：
  お気に入りフォルダーのアイコン（E10）

バージョン情報

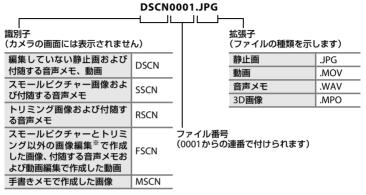
MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）➔ バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。

識別子	
編集していない静止画および付随する音声メモ、動画	DSCN
スモールピクチャー画像および付随する音声メモ	SSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
スモールピクチャーとトリミング以外の画像編集※で作成した画像、付随する音声メモおよび動画編集で作成した動画	FSCN
手書きメモで作成した画像	MSCN

拡張子	
静止画	.JPG
動画	.MOV
音声メモ	.WAV
3D画像	.MPO

※ （オート撮影）モードのクイックエフェクト（39）を含む

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋ NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。

- 内蔵メモリーとSDカードの間で記録データをコピーする場合（E80）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」：
    使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」：
    データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋1」から連番で付けられます。
    ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー /SDカードを初期化（E103）してください。

詳細編

別売アクセサリー

充電器	バッテリーチャージャー MH-66※ （残量のない状態からの充電時間：約1時間50分）
ACアダプター	ACアダプター EH-62G※ ＜EH-62Gの取り付け方＞ 1 2 3 ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてからバッテリー室に入れてください。また、バッテリー /SDカードカバーを閉める前に、コードをバッテリー室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。

※ 日本国内専用電源コード（AC 100 V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお買い求めいただけます。

警告メッセージ

表示	考えられる原因や対処	📖
⊕ （点滅）	カメラの時計が設定されていません。 日付と時刻を設定してください。	⚭90
電池残量がありません	バッテリーを充電または交換してください。	14、16
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。 電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると5秒後に液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅を開始します。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	25
カメラが高温です。 電源をOFFにします	カメラの内部が高温になっています。 自動的にカメラの電源がOFFになります。カメラの温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	–
AF● （赤色点滅）	ピントを合わせることができません。 ・ ピントを合わせ直してください。 ・ フォーカスロック撮影をお試しください。	30、77 78
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。 記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	–
カードがロック されています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 「Lock」を解除してください。	–
Eye-Fiカードは 書き込み禁止の状態では 使用できません。	Eye-Fiカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。「Lock」を解除してください。	–
	Eye-Fi カードへのアクセス異常です。 ・ カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 ・ カードが正しく挿入されているか確認してください。	18

表示	考えられる原因や対処	📖
このカードは使えません	SDカードへのアクセス異常です。 ・動作確認済みのカードを使ってください。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 ・カードが正しく挿入されているか確認してください。	18、☼22
カードに異常があります		
このカードは初期化されていません。 初期化しますか? はい いいえ	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、[**いいえ**]をタッチし、初期化する前にパソコンなどに保存してください。[**はい**]をタッチすると、SDカードを初期化できます。	☼5
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。 ・画像モードを変更してください。 ・不要な画像を削除してください。 ・SD カードを交換してください。 ・SD カードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	69、E49 34、100 18 19
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。 内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	E103
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	E103、E117
	オープニング画面に登録できない画像です。 以下の画像は登録できません。 ・[**かんたんパノラマ**]または[**3D 撮影**]で撮影した画像 ・スモールピクチャーで作成した画像サイズが 320 × 240 以下の画像	E89
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	34

表示	考えられる原因や対処	📖
これ以上、お気に入り登録できません	すでに200コマの画像がお気に入りフォルダーに登録されています。 • 画像のお気に入り登録を解除してください。 • 別のお気に入りフォルダーに登録してください。	E9 E7
音声を登録できません	音声メモを付けられない画像ファイルです。 • 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラで撮影した画像を選んでください。	– E79
目つぶり検出した画像を記録しました	記録した画像に目を閉じた人がいるかもしれません。 画像を再生して確認してください。	32、 E68
この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしました。 • 編集可能な条件を確認してください。 • 動画は編集できません。	E19 –
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	18
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。 • 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SDカードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーするときは、MENU をタッチして、[**画像コピー**] をタッチしてください。	18 E80
	選んだお気に入りフォルダーに画像が登録されていません。 • 画像をお気に入りフォルダーに登録してください。 • 画像の登録されたお気に入りフォルダーを選んでください。	E7 E8
	オート分類再生モードで選んだ項目に、分類された画像がありません。 画像の分類された項目を選んでください。	E11
このファイルは 表示できません	このカメラ以外で作成されたファイルです。 このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
このデータは 再生できません		

表示	考えられる原因や対処	📖
表示できる 画像がありません	スライドショーで表示できる画像がありません。	69
このファイルは 削除できません	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	71
自宅と訪問先が 同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–
パノラマ撮影に失敗しました	かんたんパノラマ撮影ができませんでした。 以下の場合、かんたんパノラマ撮影ができないことがあります。 • 一定時間経っても撮影が終わらないとき • カメラを動かす速度が速すぎるとき • パノラマ方向に対してまっすぐになっていないとき	3
パノラマ撮影に失敗しました まっすぐに動かしてください		
パノラマ撮影に失敗しました ゆっくりと動かしてください		
撮影に 失敗しました	3D撮影で、1コマ目の撮影ができませんでした。 • 撮影をやり直してください。 • 被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては撮影できないことがあります。	50
2枚目の撮影に 失敗しました	3D撮影で、1コマ撮影後に2コマ目の撮影ができませんでした。 • 撮影をやり直してください。1 コマ目の撮影後は被写体がガイドに合うようにカメラを水平移動してください。 • 被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては 2 コマ目を撮影できないことがあります。	50
3D画像の 保存に失敗しました	3D画像が記録できませんでした。 • 撮影をやり直してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては 3D 画像を作成できず、画像を保存できないことがあります。	50 34 –

表示	考えられる原因や対処	📖
レンズエラー	レンズの作動不良です。 電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	24
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	⚮39
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	14、25
プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。 プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。 指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。 詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙がありません	用紙がセットされていません。 指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクを確認してください	インクに異常があります。 インクを確認した後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクがありません	インクがなくなりました。 インクを交換した後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。 ［**キャンセル**］をタッチして、プリントを中止してください。	–

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

付録、索引

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖vii～xi）をお守りください。

● **強いショックを与えないでください**
カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● **水に濡らさないでください**
カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● **急激な温度変化を与えないでください**
温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● **強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください**
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● **長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください**
太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● **バッテリーやACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください**
電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

バッテリーについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖xi～xii）をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後のバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属のバッテリーケースに入れてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。
  COOLPIX S6400を本体充電ACアダプター EH-69Pまたはパソコンに接続して充電する場合、バッテリーの温度が0℃以下、45℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影環境に応じて、予備バッテリーをご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんなバッテリーを使い、予備バッテリーも用意する

バッテリーは一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。
消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかったバッテリーも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭い取ってください。

● 残量のなくなったバッテリーは充電する

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- バッテリーを使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは、付属のバッテリーケースに入れて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

バッテリーをじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖xiii～xiv）をお守りください。

- 本体充電AC アダプター EH-69P に対応している機器以外で使わないでください。
- EH-69P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- EH-69Pは、家庭用電源のAC 100－240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。推奨カード➡22
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったSD カードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
  未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- SD カードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SDカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、［**いいえ**］をタッチしてください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、［**はい**］をタッチし、確認画面が表示されたら、［**実行**］をタッチしてください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
  - バッテリー /SDカードカバーを開けて、カードやバッテリーを脱着する
  - カメラの電源をOFFにする
  - ACアダプターを外す

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作するようおすすめします。
カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

バッテリーの保管は、「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」の「保管について」（☼4）をお守りください。

付録、索引

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態で、カメラの操作ができない	• 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 • 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。 電源が OFF にならない場合は、バッテリーを入れ直してください。 AC アダプター使用時は付け直してください。 - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータはバッテリーや AC アダプターの取り外しでは失われません。	– 25、⚯119
カメラ内のバッテリーを充電できない	• プラグの接続状態を確認してください。 • セットアップメニュー［**パソコン接続充電**］が［**OFF**］になっています。 • パソコンに接続して充電しているときは、カメラの電源を OFF にすると、バッテリーの充電も中止されます。 • パソコンに接続して充電しているときに、パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源が OFF になることがあります。 • パソコンの仕様、設定または状態によっては、パソコンに接続してカメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。	16 105、⚯106 105 105 –
電源をONにできない	バッテリー残量がありません。	24

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。 • カメラの電源を ON にしたまま、本体充電 AC アダプターを接続すると電源が OFF になります。 • パソコンまたはプリンターとの接続中に USB ケーブルが外れると電源が OFF になります。USB ケーブルの接続をやり直してください。 • カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	24 105 ☼3 16 86、91、 ⚮39 –
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷 ボタン、▶ ボタン、または●（🎥 動画撮影）ボタンを押してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがオーディオビデオケーブルまたは HDMI ケーブルで接続されています。	25 2、25 58 86、91 86、⚮34
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	104、⚮93 ☼6
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画および動画の撮影日時が「2012/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー[**地域と日時**]で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	20、104、 ⚮90
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報AUTO**］になっています。	104、⚮93

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**地域と日時**］が設定されていません。	20、104、🔗90
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	• 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • 動画には写し込みできません。	104、🔗95
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	20、22
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	25
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	–

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	• HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。 • 本体充電ACアダプターでコンセントに接続しているときは、撮影モードにできません。	86、91、⚲34、⚲39 17
撮影できない	• 再生モードになっているときや、メニューが表示されているときは、◘ ボタン、シャッターボタン、または ●（▶▀ 動画撮影）ボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	10、32 24 58
3D 画像を撮影できない	被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては、2コマ目を撮影できないことや、撮影した画像を保存できないことがあります。	—
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、またはシーンモードの［**おまかせシーン**］、［**クローズアップ**］での撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	42、45、63 77 104、⚲99 25
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • ISO 感度を上げて撮影してください。 • 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	58 69 104 69、46、⚲59 61

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを⊛（発光禁止）にしてください。	59
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ベストフェイスメニューで［**目つぶり軽減**］が［**ON**］になっています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。	58 66 70 71
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • 以下の場合、電子ズームは使えません。 - 撮影メニュー［**タッチ撮影**］が［**ターゲット追尾**］のとき - 撮影メニュー［**連写**］が［**マルチ連写**］のとき - シーンモードが［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**夜景**］、［**逆光**］（［**HDR**］ON時）、［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］、または［**3D撮影**］のとき - ベストフェイスモードのとき	104、⊶100 69、⊶55 69、⊶59 42、43、49 54
［**画像モード**］が選べない	［**画像モード**］が制限される他の機能が設定されています。	71
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。［**ON**］にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	104、⊶101
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー［**AF補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	104、⊶99
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔅6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	41、69、⊶62

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 ・ フラッシュを使ってください。 ・ 低い ISO 感度にしてください。	 58 69、➡58
画像が暗すぎる	・ フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 ・ フラッシュが指などでさえぎられています。 ・ 被写体にフラッシュの光が届いていません。 ・ 露出を補正してください。 ・ ISO 感度を上げてください。 ・ 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	58 28 58 65 69、➡58 47、58
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	65
赤目以外の部分が補正された	⚡◎（赤目軽減自動発光）やシーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを⚡◎（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	43、58
美肌の効果が得られない	・ 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 ・ 4 人以上の顔を撮影した画像は、画像編集［**メイクアップ効果**］の［**美肌**］をお試しください。	55 56、84
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 ・ 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき ・ フラッシュを ⚡◎（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき ・ シーンモードの［**夜景**］、［**夜景ポートレート**］または［**逆光**］（［**HDR**］ON 時）で撮影したとき ・ 美肌機能で撮影したとき ・ 連写で撮影したとき	 – 60 43、45、47 42、43、70 69、➡59
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	–

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • COOLPIX S6400 以外で撮影した動画は再生できません。	– 101
画像の拡大表示ができない	• 動画やスモールピクチャー、640 × 360 にトリミングされた画像は拡大表示できません。 • カメラを HDMI 接続して、3D 画像を 3D（立体）で再生しているときは、拡大表示できません。 • COOLPIX S6400 以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。	– 50 –
音声メモを録音できない	• 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。	– 85、⊶78
画像編集ができない	• 動画に画像（静止画）の編集はできません。 • 画像編集が可能な条件を確認してください。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。	– 84、⊶18、⊶19 84、⊶18、⊶19
画像を回転できない	COOLPIX S6400以外で撮影した画像、および［**3D撮影**］で撮影した画像は回転できません。	–
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**TV 出力設定**］の［**ビデオ出力**］または［**HDMI**］が正しく設定されていません。 • HDMI ミニ端子と USB/ オーディオビデオ出力端子の両方にケーブルが接続されています。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	105、⊶105 86、91、⊶34、⊶39 18

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生モードで再生できない	内蔵メモリー /SD カード内のデータがパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。	–
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	• 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 • このカメラ以外で撮影した画像または［**画像コピー**］でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 • 内蔵メモリー /SD カード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 • 1 つの分類項目で表示できるのは、999 コマまでです。すでに 999 コマ登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。	82、⚙11 82、⚙11 — 82、⚙11
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。	25 24 86、91 — 88 93
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge起動画面が表示されない	PictBridge 対応プリンターの種類によっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］に設定していると、PictBridge起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］にしてプリンターに接続し直してください。	105、⚙106
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。 • ［**3D 撮影**］で撮影した画像はプリントできません。	18 19 50

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 ・ カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 ・ 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	86、⚯42、⚯43 ―

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S6400

型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		1602万画素
撮像素子		1/2.3型 原色CMOS、総画素数1679万画素
レンズ		光学12倍ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	4.5-54.0 mm（35 mm判換算25-300 mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.1-6.5
	レンズ構成	8群8枚（EDレンズ1枚）
電子ズーム倍率		最大4倍（35 mm判換算で約 1200 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正機能		レンズシフト方式
ブレ軽減機能		モーション検知（静止画）
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離範囲	• 先端レンズ面中央から約 50 cm ～∞（広角側）、約 1.2 m ～∞（望遠側） • マクロモード時は先端レンズ面中央から約 10 cm（広角側）～∞
	AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（タッチパネルでAFエリアを選択可能）、ターゲット追尾、ターゲットファインドAF
画像モニター		3型ワイドTFT液晶（タッチパネル）、反射防止コート付き、約 46万ドット輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約96%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約96%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約 78 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
	対応規格	DCF、Exif 2.3、DPOF、MPF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 3D画像：MPO 音声メモ：WAV 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AACステレオ）

記録画素数 （画像モード）	・16M（高画質）［4608 × 3456★］ ・16M［4608 × 3456］ ・8M［3264 × 2448］ ・4M［2272 × 1704］ ・2M［1600 × 1200］ ・VGA［640 × 480］ ・16：9［4608 × 2592］
ISO感度 （標準出力感度）	・ISO 125 ～ 1600 ・ISO 3200（オート撮影モード時に設定可能）
露出	
測光モード	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
露出制御	プログラムオート、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	・1/2000 ～ 1 秒 ・1/4000 秒（高速連写時の最高速） ・4 秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り	電磁駆動によるNDフィルター（－2 AV）選択方式
制御段数	2（f/3.1、f/6.2［広角側］）
セルフタイマー	約 10秒、約 2秒
フラッシュ	
調光範囲 （ISO感度設定オート時）	約 0.5～6.2 m（広角側） 約 1.2～2.9 m（望遠側）
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB
通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
HDMI出力	オート、480p、720p、1080iから選択可能

項目	仕様
入出力端子	オーディオビデオ（AV）出力/デジタル端子（USB）、HDMIミニ端子（Type C）（HDMI出力）
表示言語	日本語、英語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL19（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-62G（別売）
充電時間	約 3時間（本体充電ACアダプター EH-69P使用時、残量のない状態からの充電時間）
電池寿命※1	
静止画撮影時	約160コマ （EN-EL19使用時）
動画撮影時（実撮影電池寿命）※2	・ HD 1080p★（1920 × 1080）：約 20 分（EN-EL19 使用時） ・ HD 1080p（1920 × 1080）：約 20 分（EN-EL19 使用時） ・ HD 720p（1280 × 720）：約 25 分（EN-EL19 使用時）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 95.4×58.6×26.7 mm（突起部除く）
質量	約 150 g（バッテリー、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電バッテリー使用時のものです。

※1 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。静止画の測定条件は、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード［**4608 × 2592**］です。動画設定は、［**HD 1080p★ (1920×1080)**］です。数値は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用環境によって異なります。

※2 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL19

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、700 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 31.5×39.5×6 mm
質量	約 14.5 g（バッテリーケースを除く）

本体充電ACアダプター EH-69P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.068～0.042 A
定格入力容量	6.8～10.1 VA
定格出力	DC 5.0 V、550 mA
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×54 mm
質量	約 55 g

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

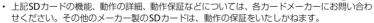
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Lexar	–	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ
本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

FreeType License (FreeType2)
本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project（www.freetype.org）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (Harfbuzz)
本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The Harfbuzz Project（http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

索引

マーク・英数

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>
全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。
ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>
下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター>
230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング／サポートページ>

● http://www.nikon-image.com/support/
最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

● http://www.nikon-image.com/support/repair/
「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

YP2I02(10)
6MNA7610-02